

静岡市 歯と口に関するアンケート調査 報告書

令和元年度
静岡市

目次

静岡市民向け調査	1
調査対象先の抽出方法	2
調査方法、集計処理	3
1) アンケート記入者	4
2) 年齢	4
3) 性別	5
4) 居住地	5
5) 過去1年間の歯科受診の有無	6
6) 過去1年間に歯科医院に行った理由・目的	7
7) かかりつけ歯科医の有無	8
8) かかりつけ歯科医がない理由	9
9) 歯科健診を受ける場所	10
10) 歯科健診に行く条件	11
11) 歯科に関する情報の入手先	12
12) 『8020運動』の認知度	13
13) むし歯や歯周病と口臭との関係性の認知度	14
14) 災害時における誤嚥性肺炎のリスクの認知度	15
15) 歯みがきの回数	16
16) 歯みがき時の出血の有無	17
17) 歯間清掃用補助用具の使用状況	18
18) フッ化物応用の使用状況	19
19) 家族や友人との食事摂取状況	20
20) 非常持ち出し袋に口腔衛生用品が入っている状況の有無	21
21) 歯みがきをする方法	22
22) 仕上げみがきをする頻度	23
23) 歯科医院に行くタイミング	24
24) 園や学校での歯みがき状況	25
25) 『歯周病』や『歯肉炎』の診断状況	26
26) 静岡市歯周病検診の認知度	27
27) 静岡市歯周病検診を受けない理由	28
28) むせ予防・だ液分泌促進のための体操の認知度	29
29) 歯周病と全身の病気との関係性の認知度	30
30) 歯・口の健康と誤嚥性肺炎・認知症との関係性の認知度	31
31) オーラルフレイルの認知度	32
32) 訪問歯科診療の認知度	33
33) 要介護度の認定の有無	34
34) かねて食べる時の状況	35
市民向け調査票	37

静岡市内事業所向け調査	45
調査対象先の抽出方法	46
調査方法、集計処理	47
1) 業種	48
2) 従業員数	49
3) 女性従業員比率	50
4) 50歳以上の従業員比率	51
5) 被用者保険の種類	52
6) 健康診断の実施の有無	53
7) 健康診断における歯科健診の実施の有無	54
8) 健康診断や歯科健診の受診時間の状況	55
9) 従業員の歯の病気についての把握状況	56
10) 静岡市歯周病検診の告知・周知の状況	57
11) 定刻での体操の実施状況	58
12) 上司や同僚による健康状態のチェックの有無	59
13) 従業員の歯みがきの実施状況	60
14) 昼食後の歯みがき推奨の実施の有無	61
15) 正しい歯みがき方法の指導の有無	62
16) 歯みがきをする場所の状況	63
17) 経営理念や経営方針の健康に関する記述の有無	64
18) 健康に関する取組み状況	65
19) 健康経営の実施状況	66
20) 歯科医師や歯科衛生士による相談・講座の希望の有無	67
事業所向け調査票	69

静岡市民向け調査

【調査対象先の抽出方法】

- ① 本調査では、静岡市の住民基本台帳から2019年3月31日時点の1歳以上の日本人登録者68万5,620人を4つの年齢層と3つの行政区で構成比を算出した（図表1）。
- ② 調査サンプル4,500人を市内3区の年齢構成に合わせて抽出した（図表2）。
- ③ 健康づくり推進課の過去の同種調査の回答状況などを考慮して、年齢層別・地域別ごとに、基本抽出数を補正して最終抽出数を決定した（図表3）。

図表1 静岡市民の3区別 年齢層の比率

年齢区分	葵区	駿河区	清水区	市内合計
子ども期（1～11歳）	3.5%	3.0%	3.0%	9.5%
思春期（12～19歳）	2.2%	1.9%	2.1%	6.2%
成人期（20～64歳）	19.3%	16.8%	17.7%	53.8%
高齢期（65歳以上）	11.2%	8.2%	11.1%	30.5%
合計	36.2%	29.9%	33.9%	100.0%

図表2 静岡市民の3区別・年齢層別の基本抽出数

年齢区分	葵区	駿河区	清水区	市内合計
子ども期（1～11歳）	158人	135人	135人	428人
思春期（12～19歳）	99人	86人	95人	280人
成人期（20～64歳）	869人	756人	797人	2,422人
高齢期（65歳以上）	504人	369人	500人	1,373人
合計	1,630人	1,346人	1,527人	4,503人

図表3 過去の調査実績等に基づく抽出数調整後の最終抽出数

年齢区分	葵区	駿河区	清水区	市内合計数
子ども期（1～11歳）	▼ 8人 150人	▼ 5人 130人	▼ 5人 130人	▼ 18人 410人
思春期（12～19歳）	+ 51人 150人	+ 44人 130人	+ 35人 150人	+ 130人 430人
成人期（20～64歳）	+ 11人 880人	+ 14人 770人	+ 13人 810人	+ 38人 2,460人
高齢期（65歳以上）	▼ 54人 450人	▼ 69人 300人	▼ 50人 450人	▼ 173人 1,200人
合計	± 0人 1,630人	▼ 16人 1,330人	+ 13人 1,540人	▼ 3人 4,500人

【調査方法】

- ① 抽出した4,500人の市民に対して、8月5日に郵送でアンケート調査票を発送した。回答期限を8月21日に設定したが、10月末まで回答があった1,739人で集計作業を行った（図表4）。
- ② 年齢層別回収率は、抽出時と回答時の年齢区分が一部異なるため、思春期と成人期は推定値で算出した（図表5）。

図表4 アンケート発送・回収状況

発送数	4,500人
回収数	1,739人
回収率	38.6%

図表5 年齢層別回収率（思春期と成人期は推定値）

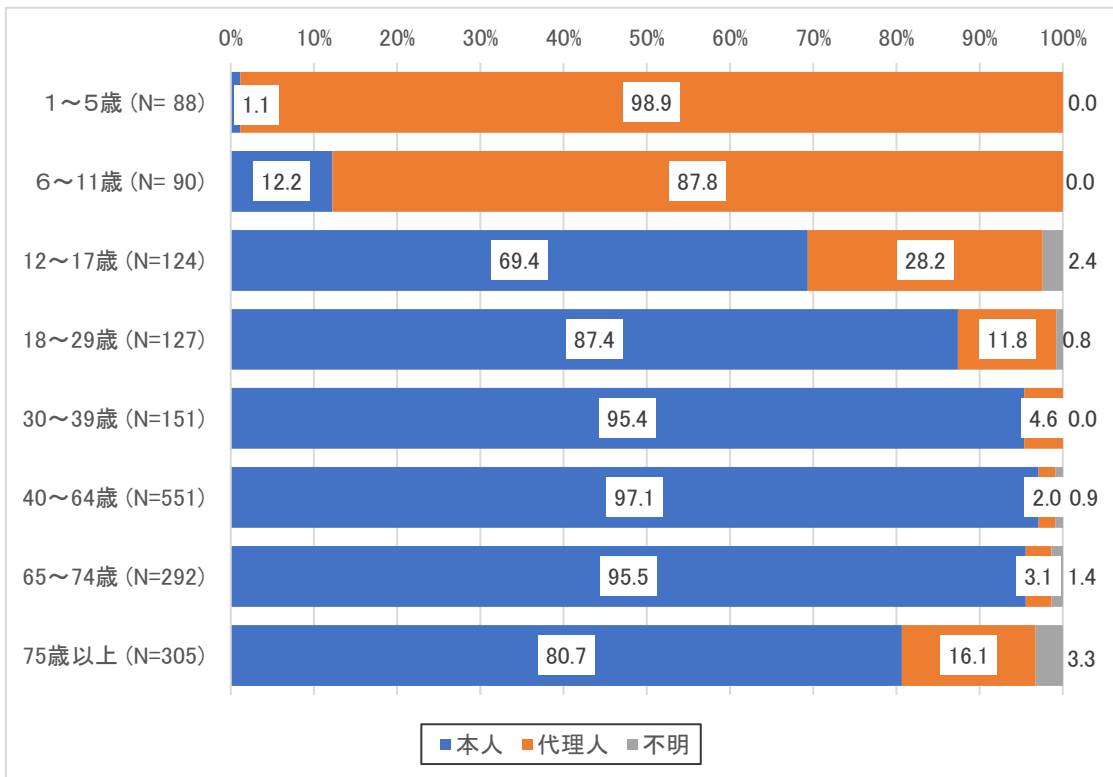
年齢層	抽出数	有効回答数	回収率
子ども期（1～11歳）	410	178	43.4%
思春期（12～19歳）	430	145	33.8%
成人期（20～64歳）	2,460	808	32.8%
高齢期（65歳以上）	1,200	597	49.8%
計	4,500	1,728	38.4%

【集計処理】

- ① 当該質問に年齢等で回答権がない場合には、記入があっても「非該当」として取り扱った。
- ② “回答が未記入”、もしくは“指定回答数を上回る回答”があった場合には、すべてを「不明」として取り扱った。
- ③ 「非該当」は、有効回答として認めない。
- ④ 回答比率の合計は、端数処理（四捨五入）している関係で、表示した比率の単純合計の値が100%にならない場合がある。
(例. 選択肢3つの質問に3人が別々の選択肢を選んだ場合、各項目の比率33.3%、合計値は100.0%となる)
- ⑤ 2ページの「年齢区分」をさらに細分化した 2) の回答肢により、層別分析を行った。

1) アンケート記入者

アンケートの記入者を教えてください（単数回答）



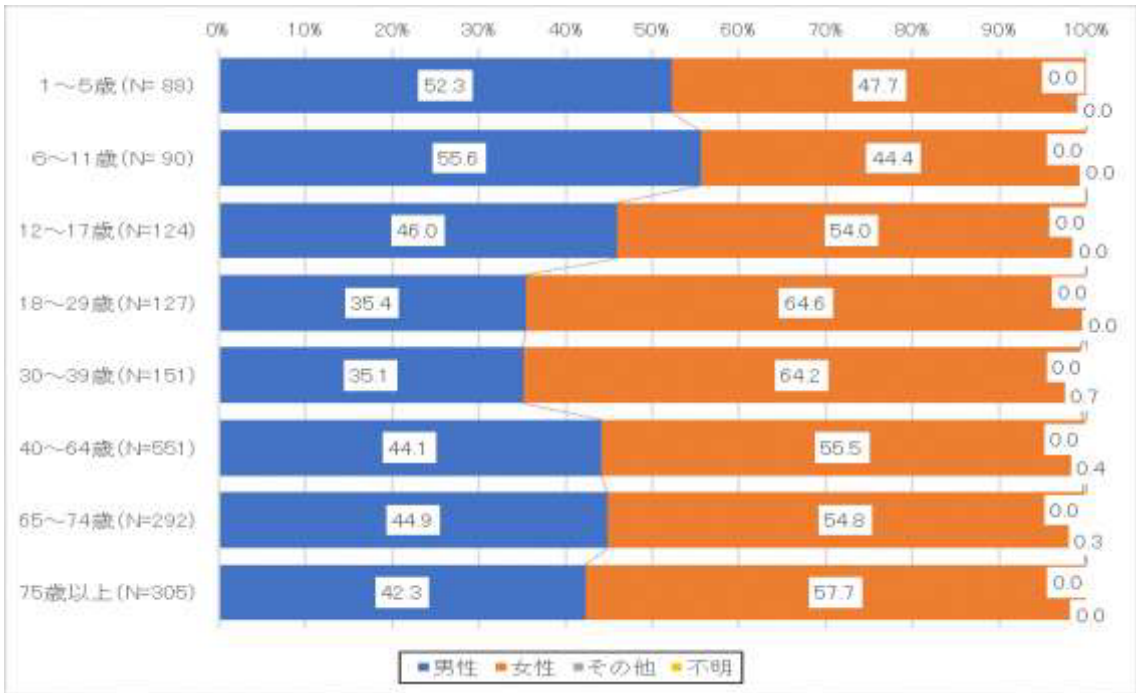
2) 年齢

2019年4月1日時点の年齢を教えてください（単数回答）

年齢区分	回答数
1～5歳（未就学児）	88
6～11歳（小学生）	90
12～17歳（中学生・高校生）	124
18～29歳	127
30～39歳	151
40～64歳	551
65～74歳	292
75歳以上	305
小計	1,728
不明	11
非該当	0
合計	1,739

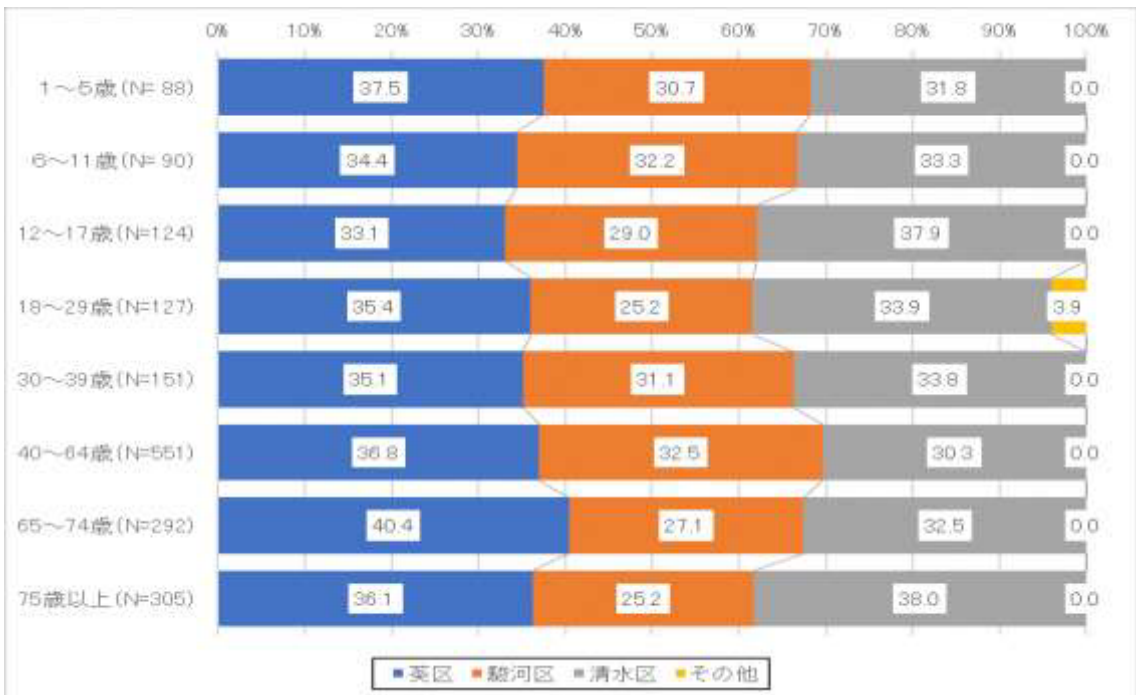
3) 性別

性別を教えてください（単数回答）



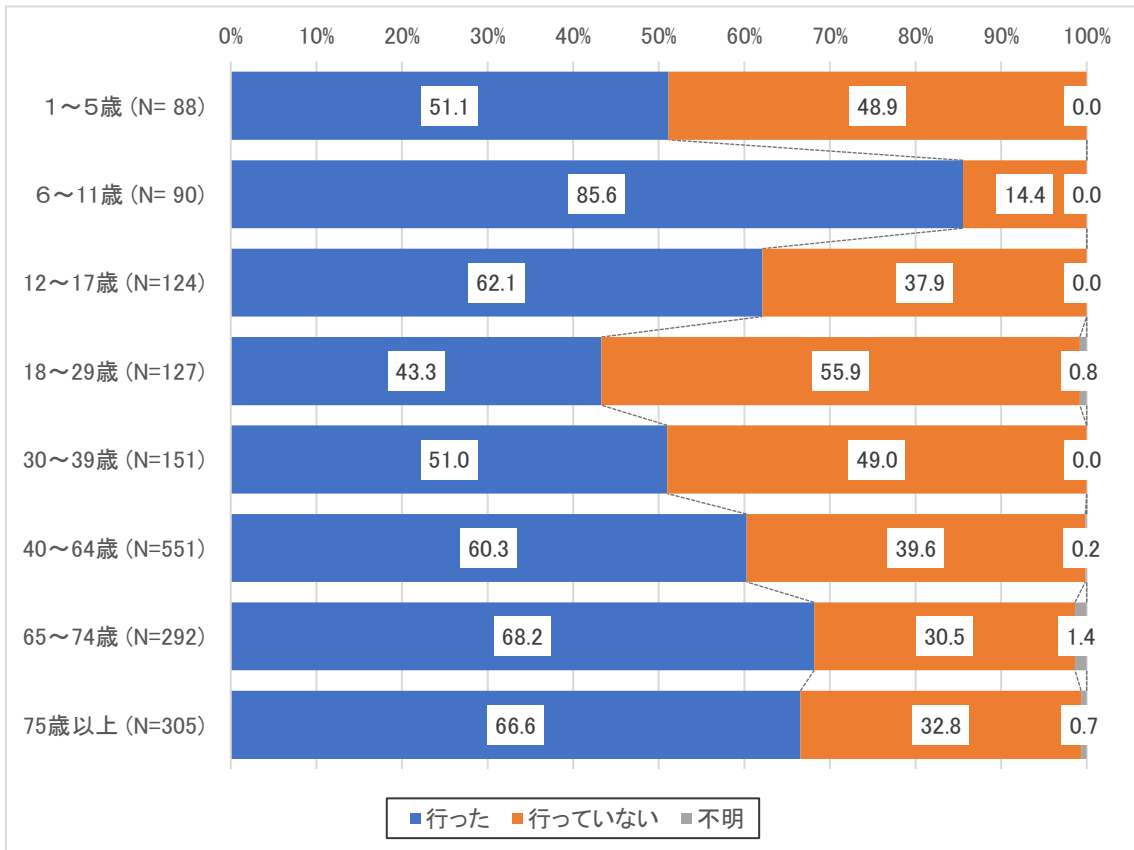
4) 居住地

居住地を教えてください（単数回答）



5) 過去1年間の歯科受診の有無

2018年7月～2019年6月の間で、歯科医院に行きましたか（単数回答）

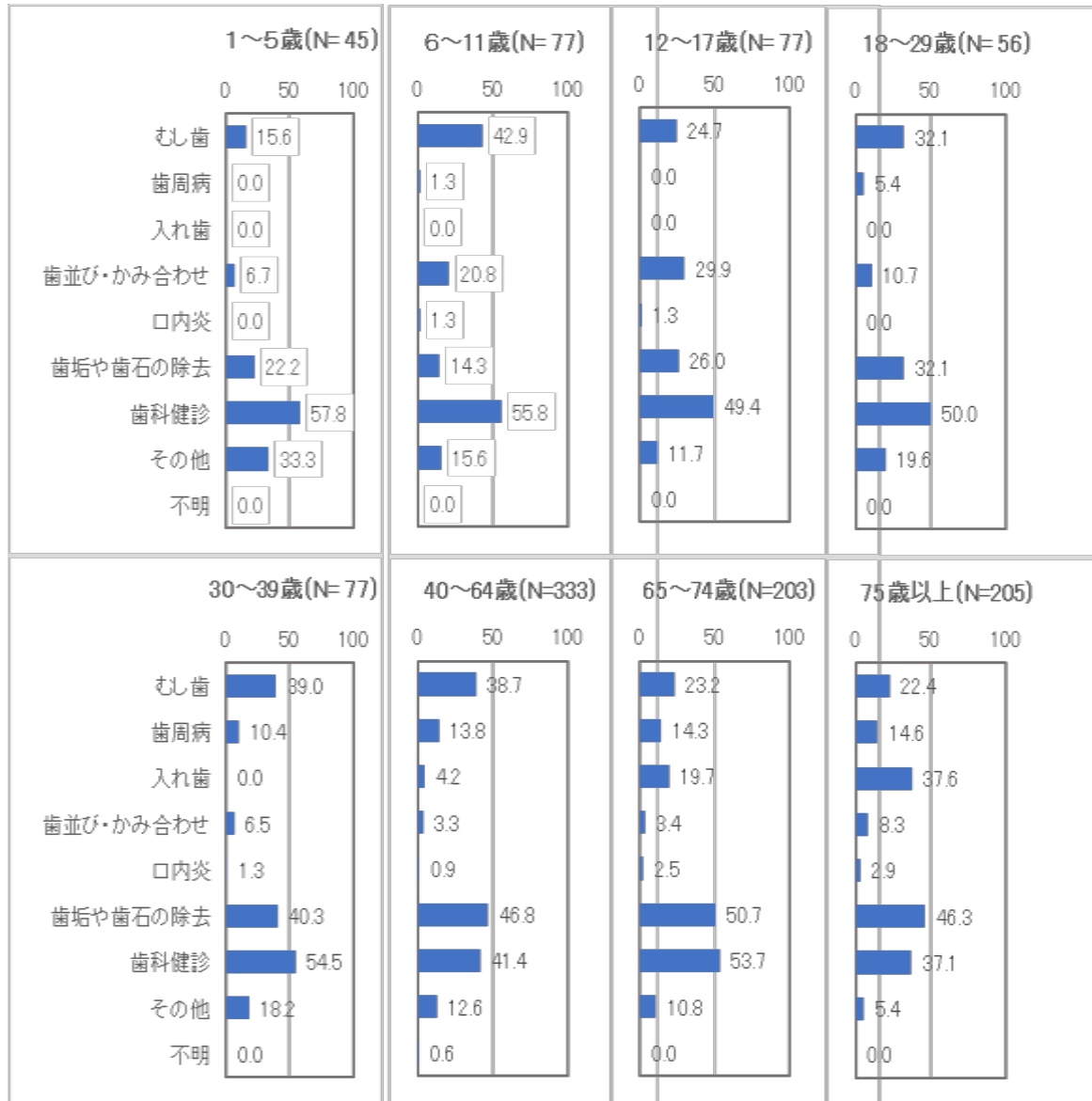


過去1年間に歯科医院へ「行った」と回答した人の割合は、“6～11歳”が85.6%で最も高く“18～29歳”が43.3%で最も低かった。

6) 過去1年間に歯科医院に行った理由・目的

前問(問5)において「行った」を選んだ人のみ回答

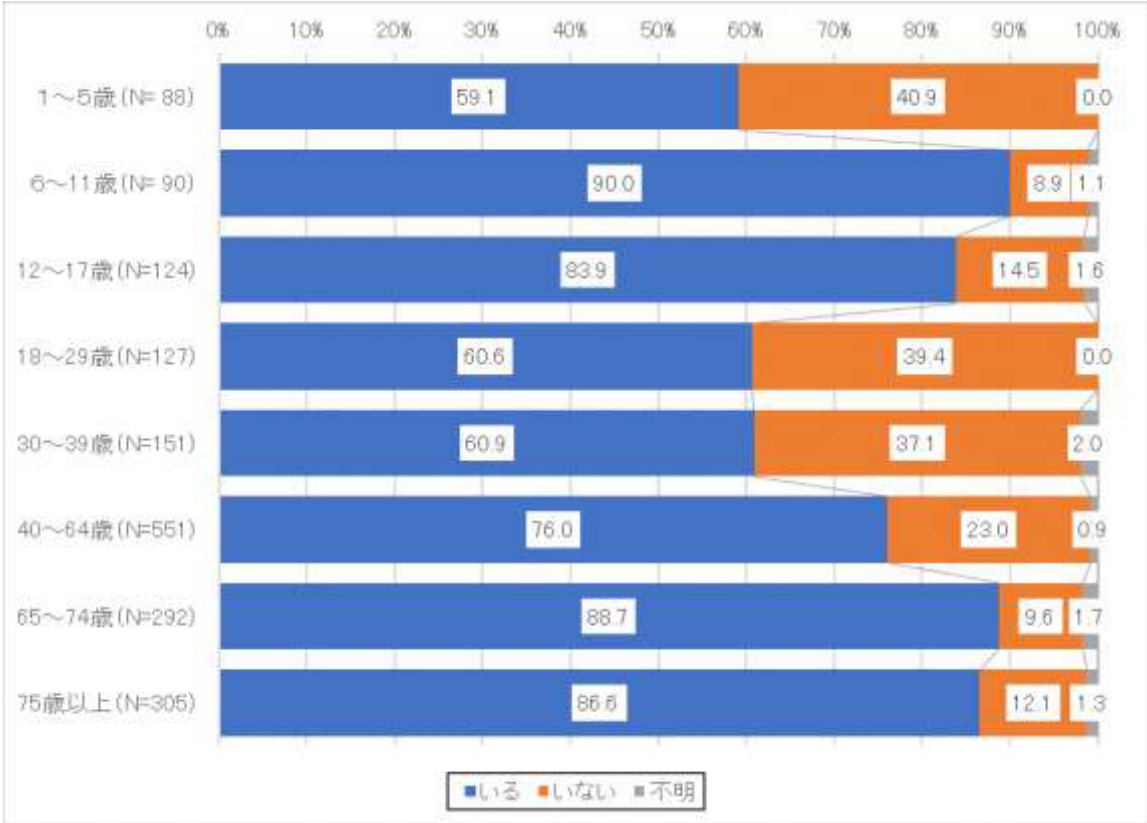
歯科医院に行った理由あるいは目的である病名や治療、健診などを教えてください
(複数回答)



過去1年間に歯科医院へ行った理由・目的は、“40~64歳” “75歳以上”以外の年齢層では、「歯科健診」と回答した割合が最も高かった。

7) かかりつけ歯科医の有無

歯や口に関して治療や相談ができる歯科医（いわゆる『かかりつけ歯科医』）がいますか（単数回答）

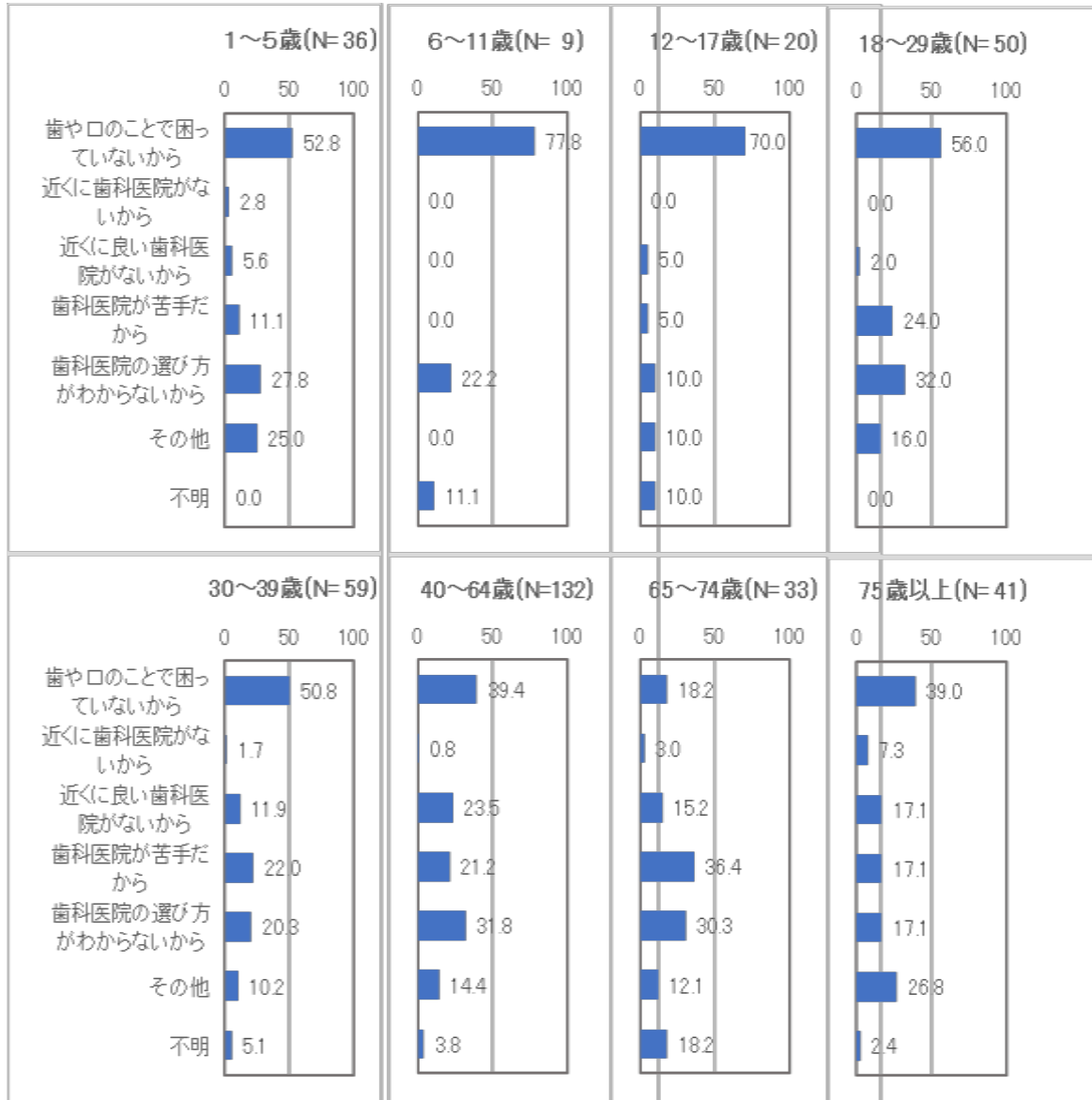


かかりつけ歯科医が「いる」と回答した人の割合は、“6～11歳”が90.0%で最も高く、“18～29歳”“30～39歳”では60%台だった。

8) かかりつけ歯科医がない理由

前問（問7）において「いない」を選んだ人のみ回答

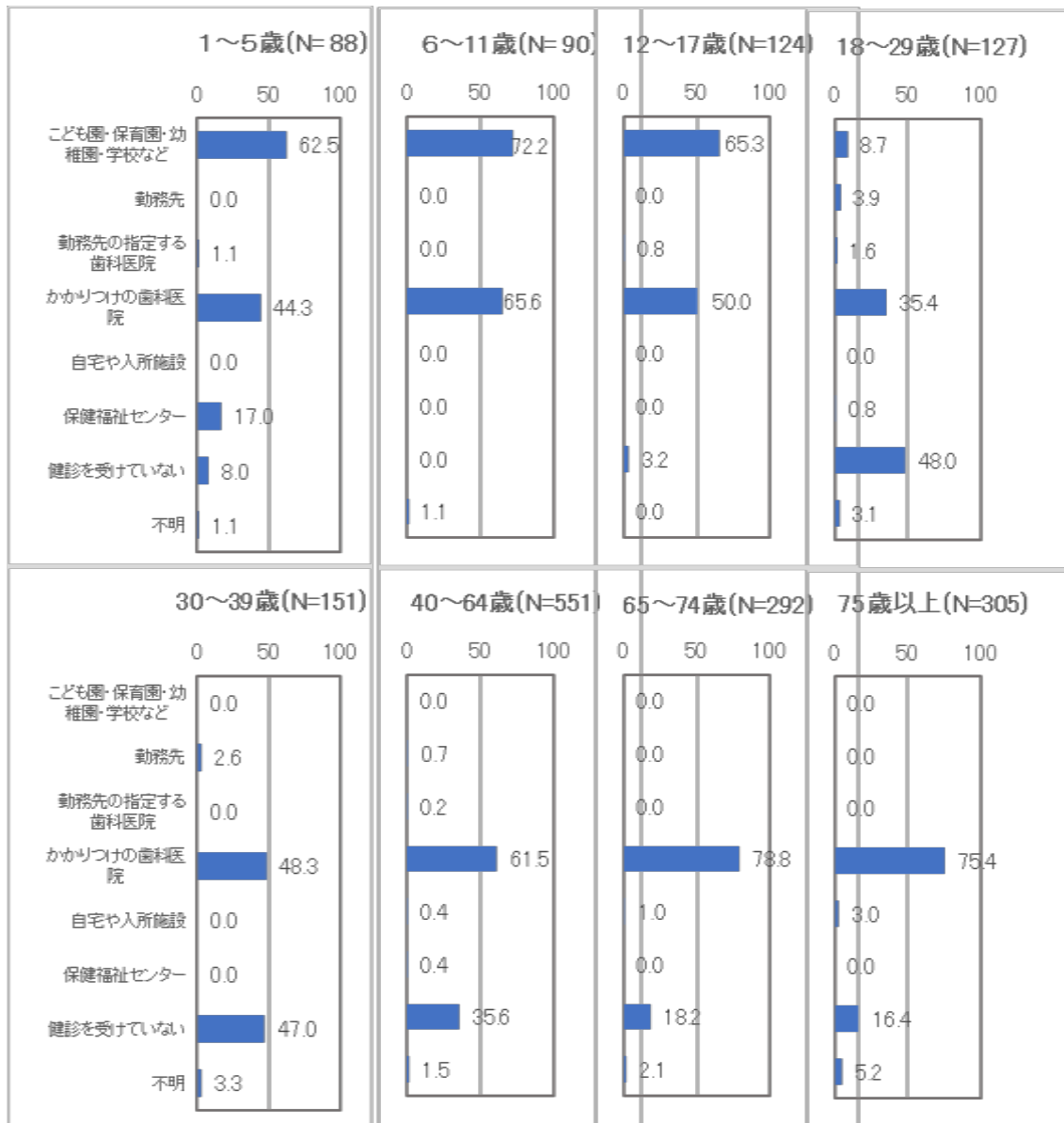
『かかりつけ歯科医』がない理由を教えてください（複数回答）



かかりつけ歯科医がないと回答した人の割合が60%台の“18～29歳” “30～39歳”では、「歯や口のことで困っていないから」の他に、「歯科医院が苦手だから」「歯科医院の選び方がわからないから」などと回答した割合が高かった。

9) 歯科健診を受ける場所

歯や口の状態をチェックする『歯科健診』をどこで受けていますか (複数回答)

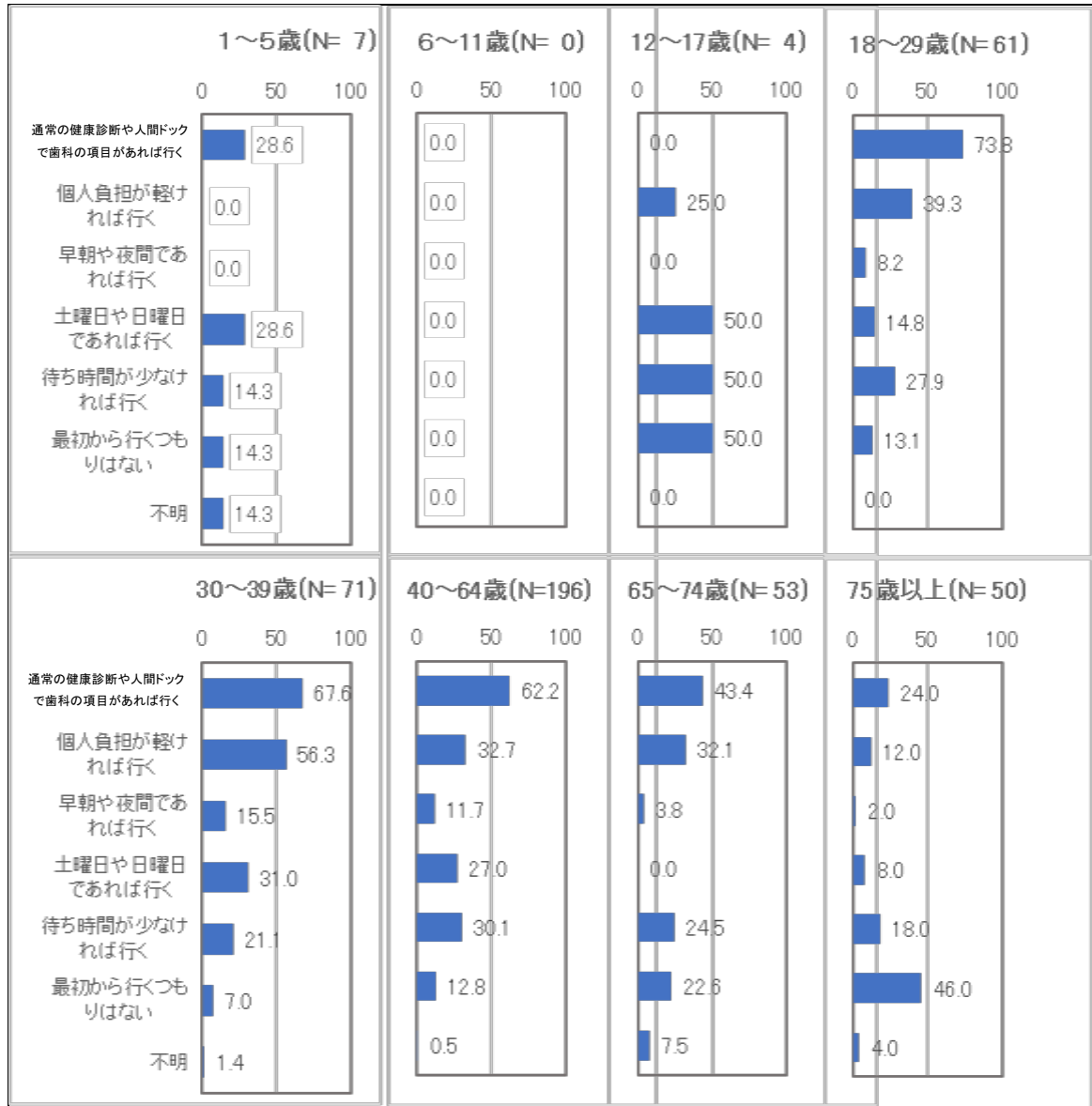


歯科健診を受ける場所として、“1～5歳” “6～11歳” “12～17歳”では、「こども園・保育園・幼稚園・学校など」と回答した割合が最も高く、“40～64歳” “65～74歳” “75歳以上”では、「かかりつけの歯科医院」と回答した割合が最も高かった。

“18～29歳” “30～39歳”では、他の年齢層に比べて「健診を受けていない」と回答した割合が高かった。

10) 歯科健診に行く条件

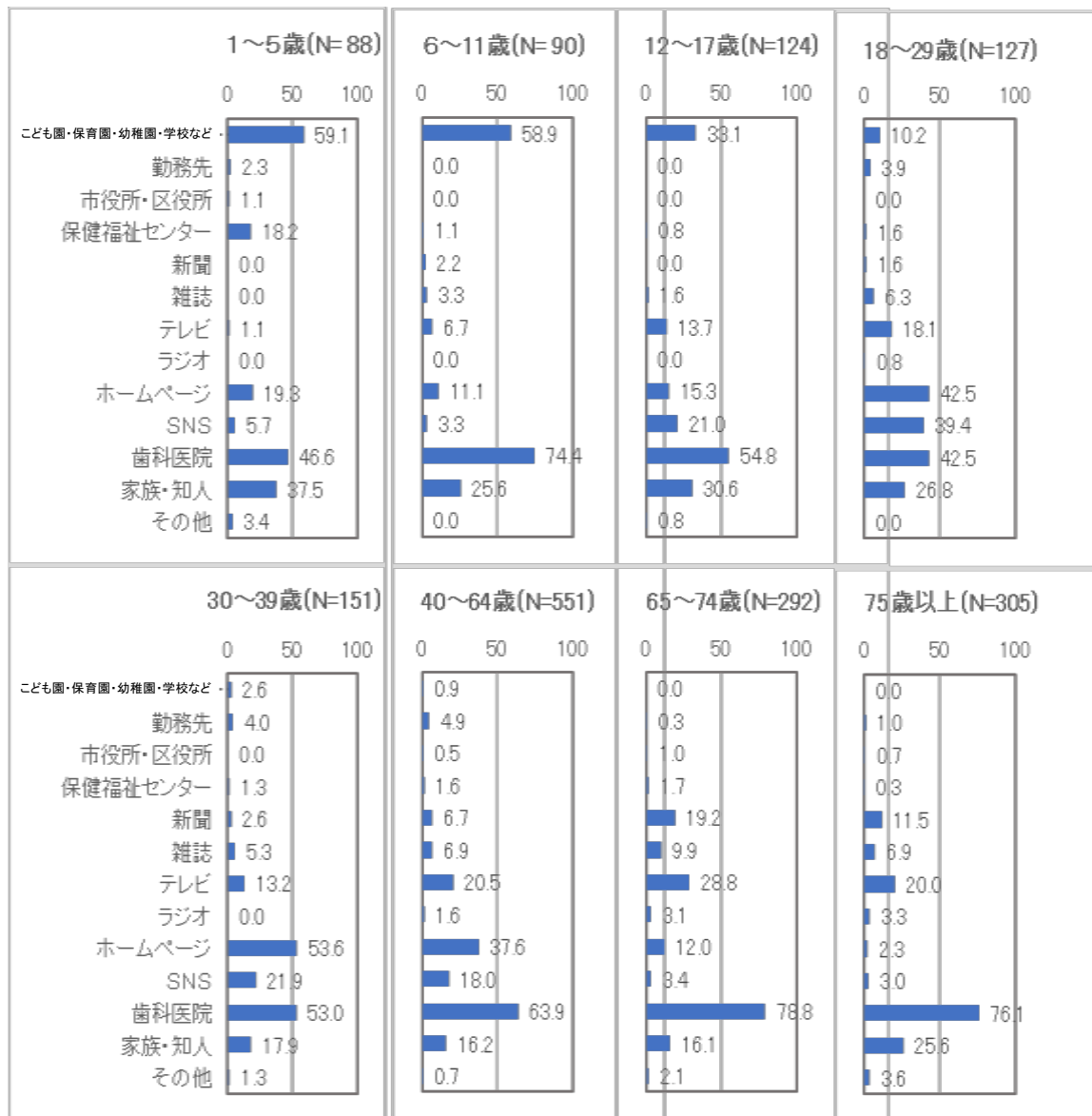
前問（問9）において「健診を受けていない」を選んだ人のみ回答
 どのような条件が整えば、歯科健診に行こうと思いますか（複数回答）



歯科健診に行く条件として、「歯科健診を受けていない」と回答した人の割合が高かった“18～29歳”“30～39歳”では、「通常健康診断や人間ドックで歯科の項目があれば行く」と回答した割合が最も高く、次いで「個人負担が軽ければ行く」「土曜日や日曜日であれば行く」「待ち時間が少なければ行く」などとなっていた。

11) 歯科に関する情報の入手先

『歯みがき』や『むし歯』に関することを知りたい時、どこから情報を入手しますか
(複数回答)

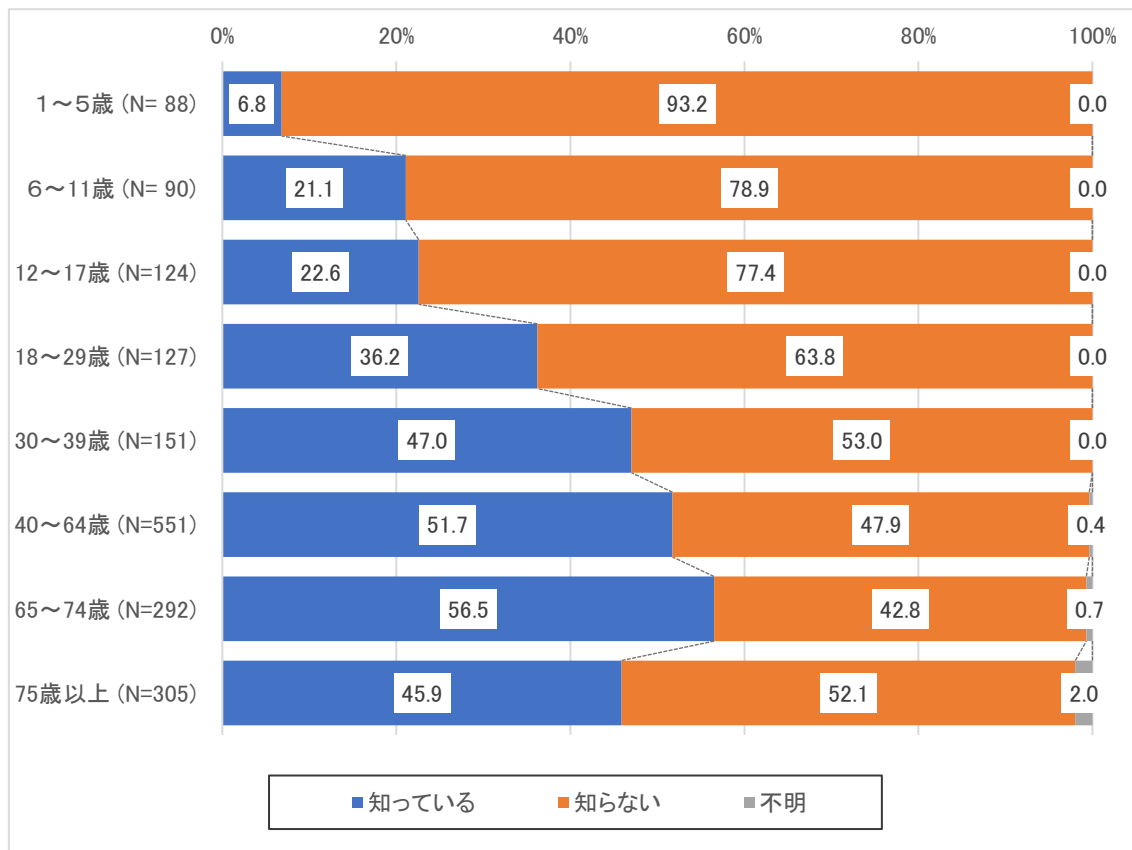


情報の入手先として、“1～5歳” “30～39歳”を除いて、「歯科医院」と回答した割合が最も高かった。

かかりつけ歯科医がいないと回答した人の割合が60%台の“18～29歳” “30～39歳”では、「歯科医院」の他に「ホームページ」「SNS」と回答した割合が高かった。

12) 『8020運動』の認知度

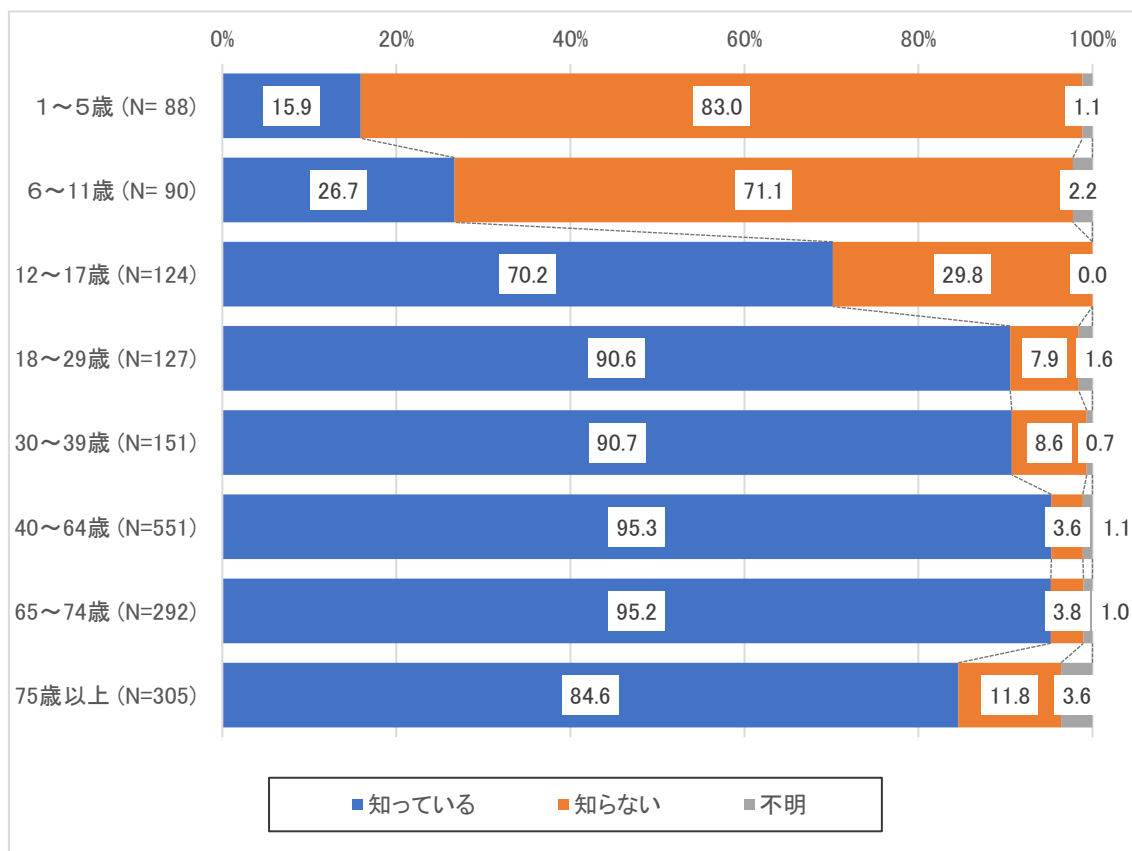
歯と口に関する『8020運動』^{はちまるにいまる}という取り組みを知っていますか（単数回答）



『8020運動』を「知っている」と回答した人の割合は、“75歳以上”を除いて、年齢層が上がるほど、高かった。

13) むし歯や歯周病と口臭との関係性の認知度

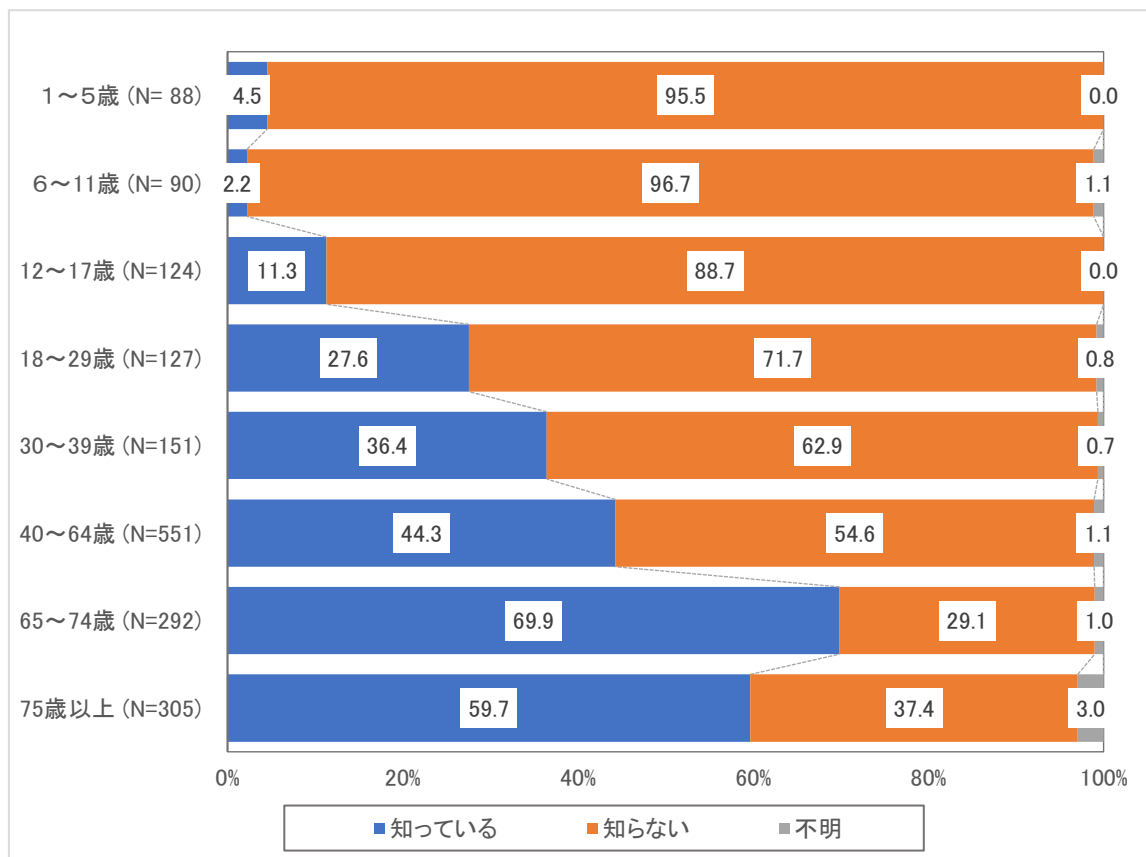
『むし歯や歯周病が口臭の原因になる場合がある』ことを知っていますか（単数回答）



口臭の原因になる場合があることを「知っている」と回答した人の割合は、“40～64歳”が95.3%、“65～74歳”が95.2%で、他の年齢層より高かった。

14) 災害時における誤嚥性肺炎のリスクの認知度

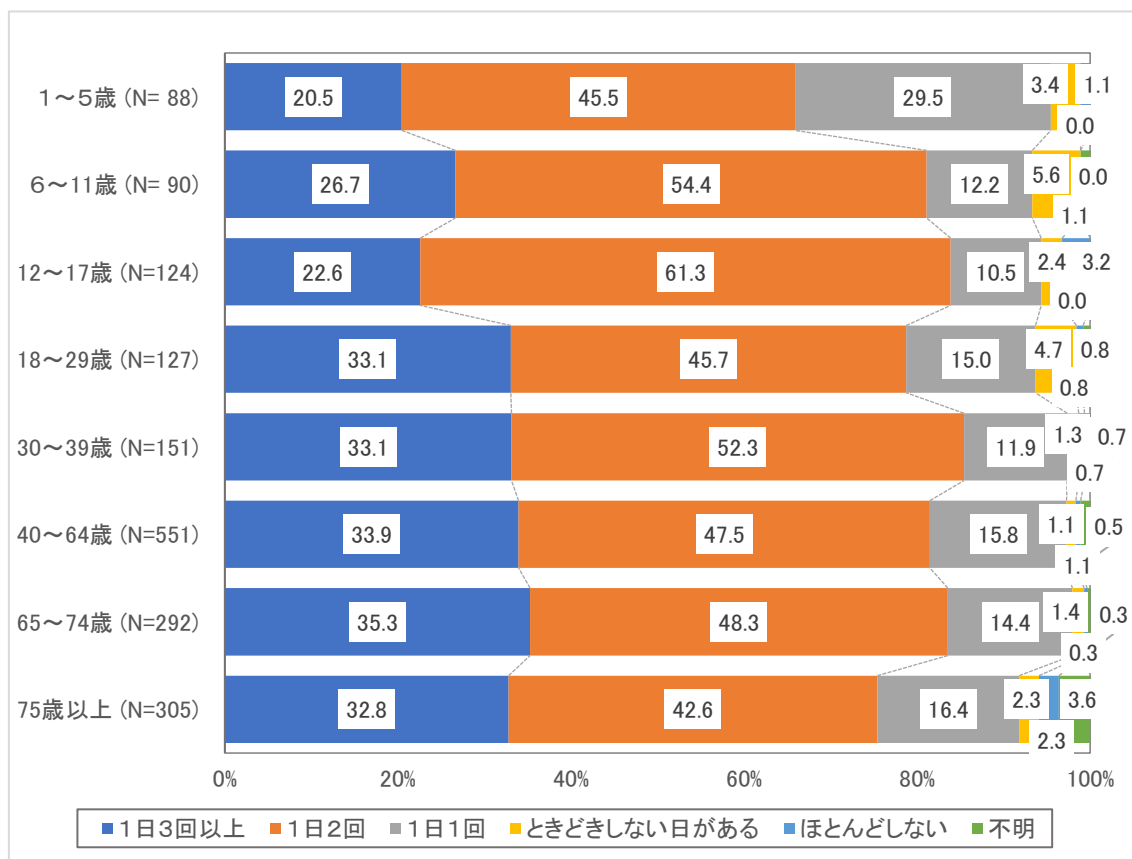
「災害時に十分な口腔ケアができないと誤嚥(ごえん)性肺炎になる可能性がある」ことを知っていますか (単数回答)



誤嚥性肺炎になる可能性があることを「知っている」と回答した人の割合は、“65～74歳”が69.9%で最も高かった。

15) 歯みがきの回数

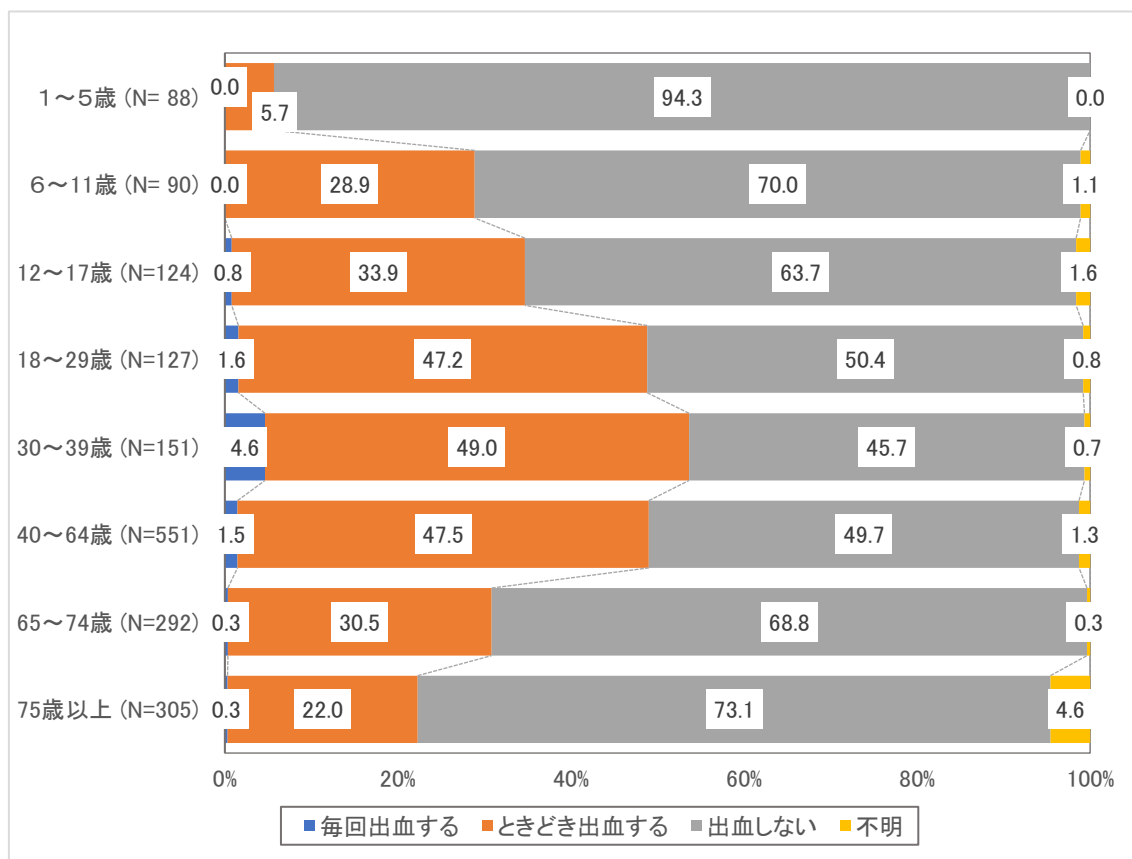
歯みがきをしますか（単数回答）



いずれの年齢層においても、「1日2回」と回答した人の割合が最も高かった。

16) 歯みがき時の出血の有無

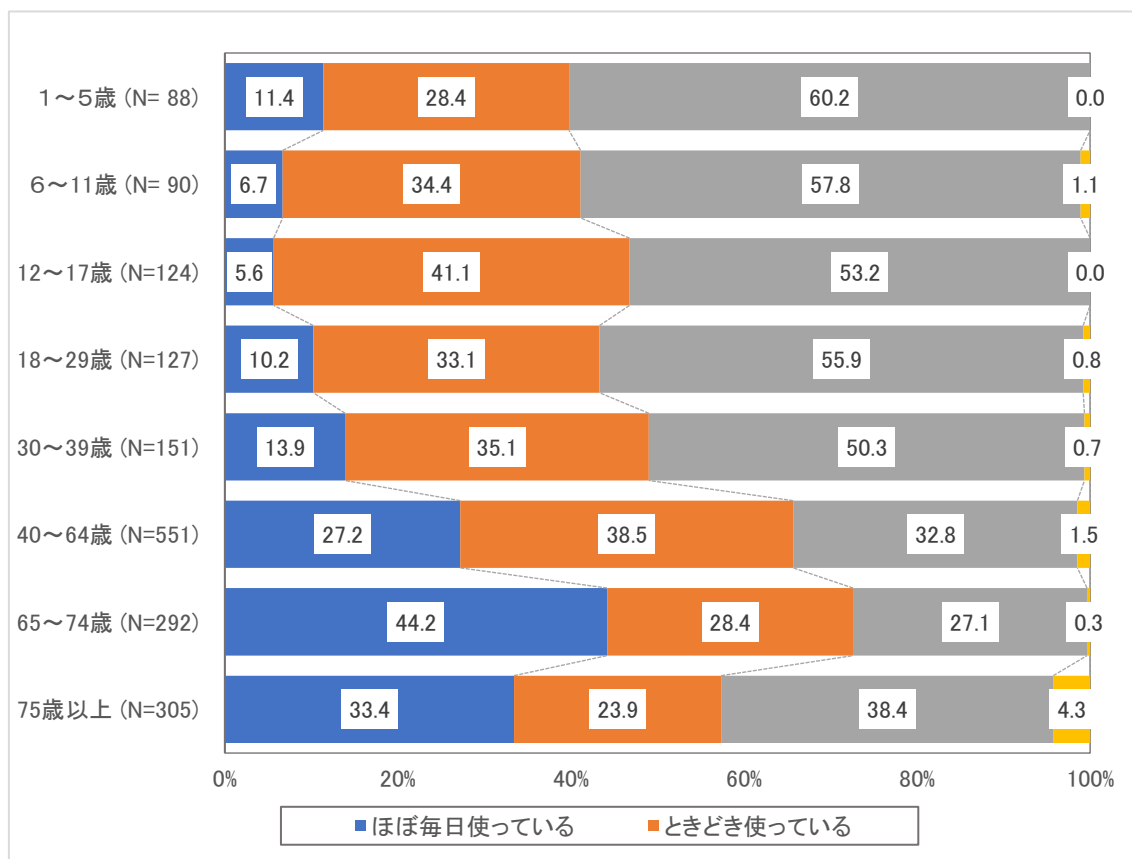
歯みがきをしていて出血することはありますか（単数回答）



“18～29歳” “30～39歳” “40～64歳” で「毎回出血する」「ときどき出血する」と回答した人の割合が他の年齢層より高かった。

17) 歯間清掃用補助用具の使用状況

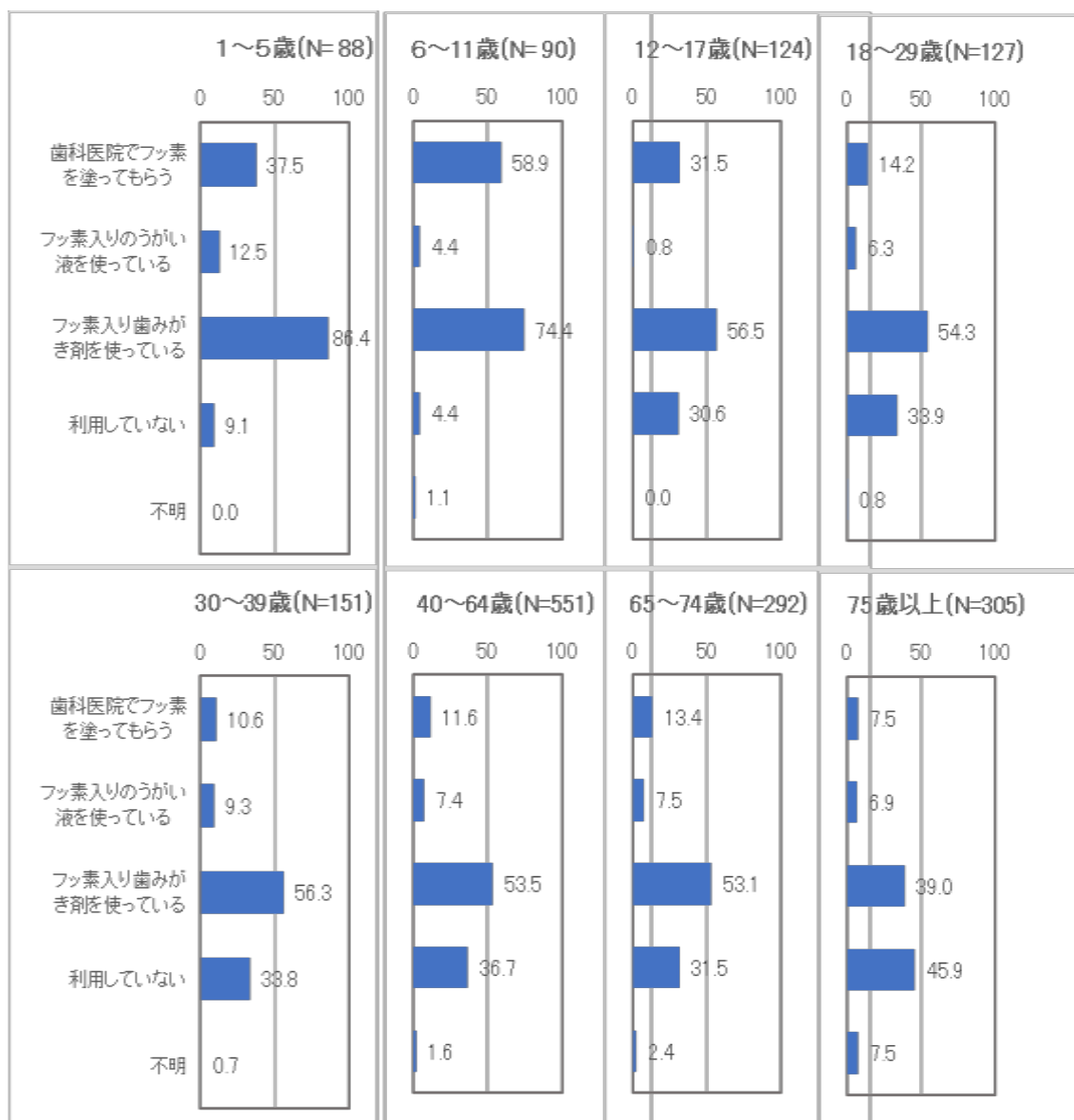
「デンタルフロス（糸ようじ）」や「歯間ブラシ」を使っていますか（単数回答）



デンタルフロスや歯間ブラシを「ほぼ毎日使っている」と回答した人の割合は、“65～74歳”が44.2%で最も高かった。

18) フッ化物応用の使用状況

むし歯予防のために、フッ素を使った製品などで歯のケアをしていますか（複数回答）

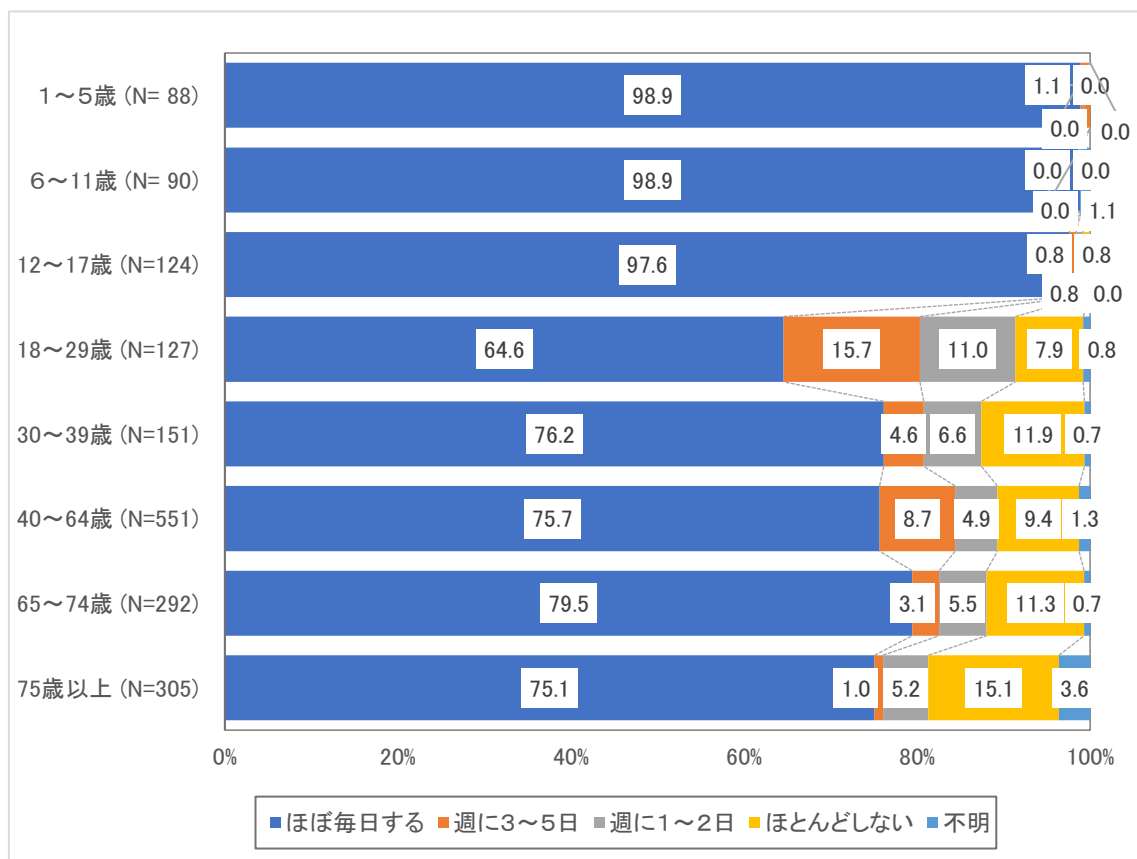


フッ化物応用の使用状況は、“75歳以上”以外の年齢層で「フッ素入り歯みがき剤を使っている」と回答した割合が最も高かった。

“75歳以上”は、「利用していない」と回答した割合が最も高かった。

19) 家族や友人との食事摂取状況

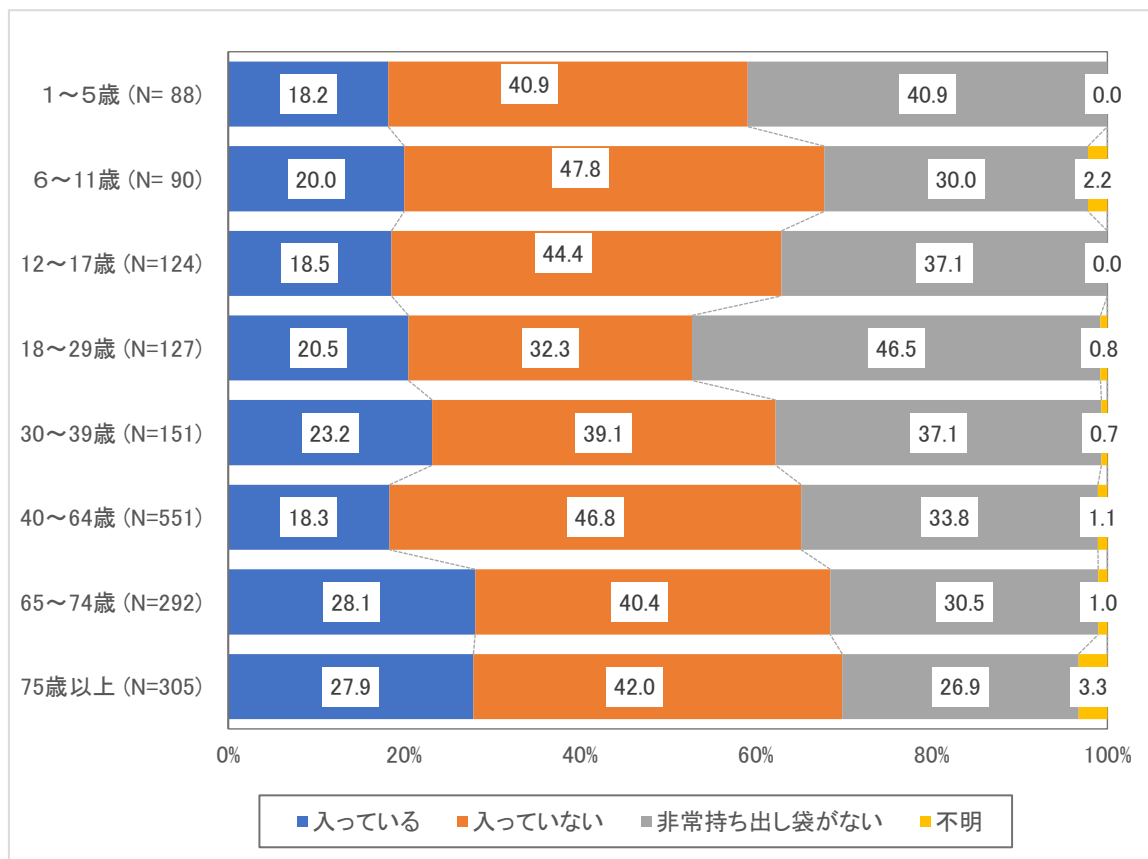
1日1食以上、家族や友人とともに食事をしますか（単数回答）



家族や友人とともに食事を「ほぼ毎日する」と回答した人の割合は、“18~29歳”が64.6%で最も低かった。

20) 非常持ち出し袋に口腔衛生用品が入っている状況の有無

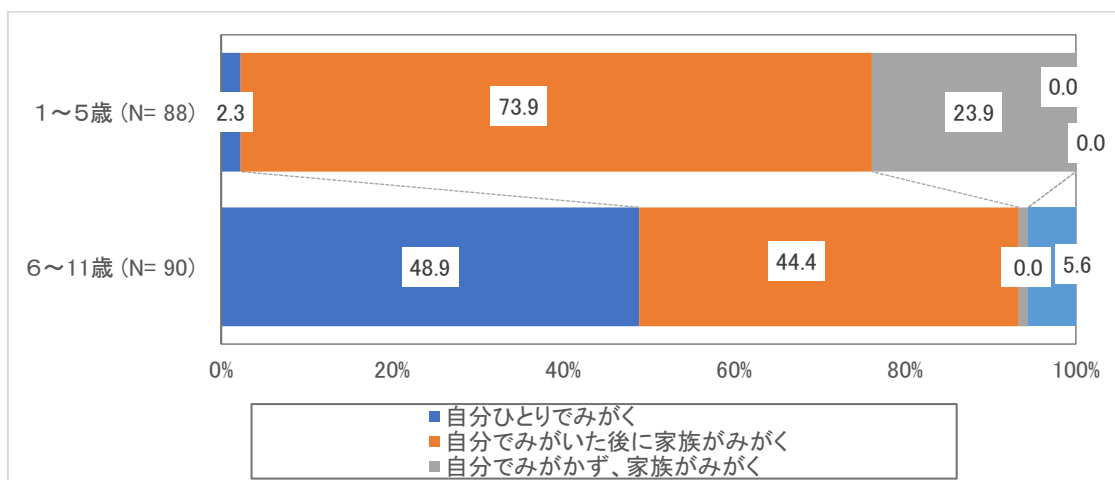
お宅では非常時の『非常持ち出し袋』の中に、歯ブラシや液体歯みがきが入っていますか（単数回答）



『非常持ち出し袋』の中に、歯ブラシや液体歯みがきが「入っている」と回答した人の割合は、“65～74歳”が28.1%、“75歳以上”が27.9%で、他の年齢層よりも高かった。

21) 歯みがきをする方法

【小学生以下】歯みがきは、どのようにしていますか（単数回答）

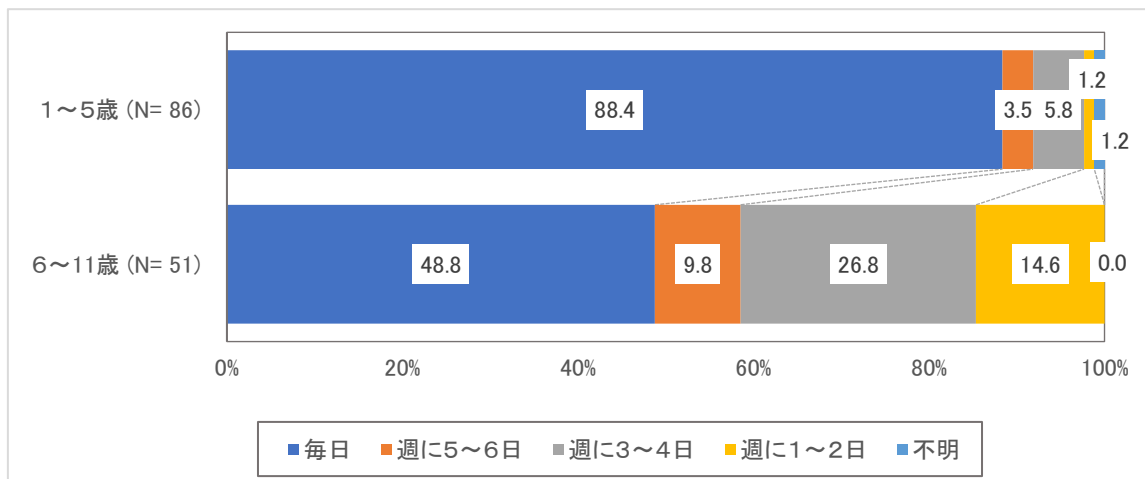


歯みがきは、「自分でみがいた後に家族がみがく」と回答した人の割合が、“1～5歳”で73.9%だったのに対し、“6～11歳”は44.4%だった。

22) 仕上げみがきをする頻度

前問（問21）において「自分でみがいた後に、家族がみがく」と「自分でみがかず、家族がみがく」を選んだ人のみ回答

【小学生以下】家族がみがくのは、週に何回くらいですか（単数回答）

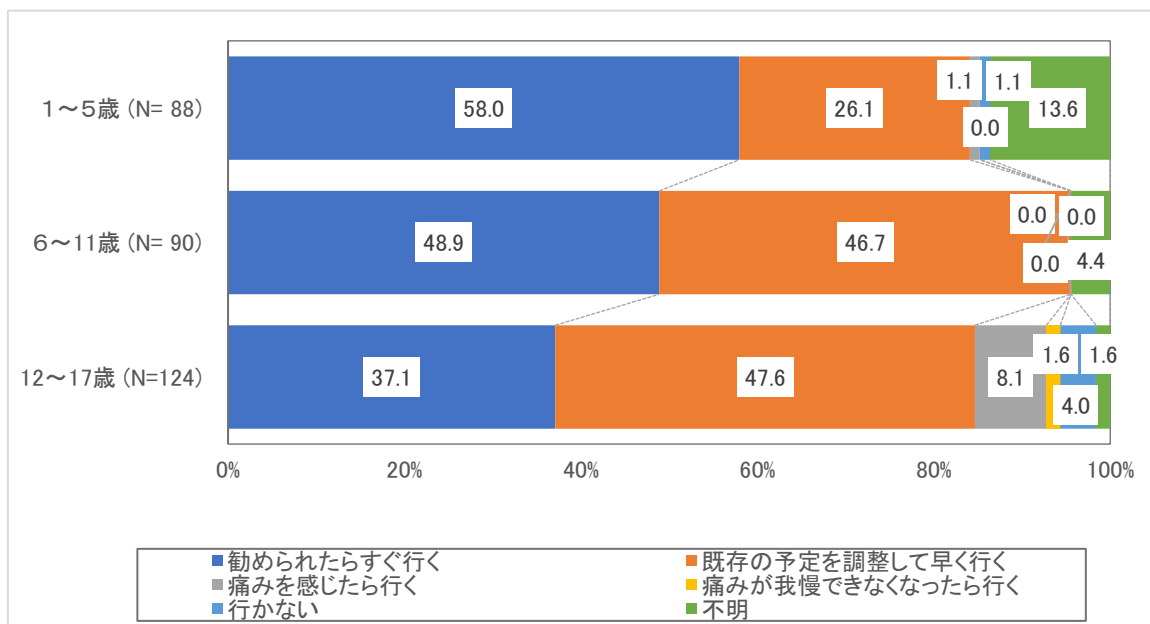


家族がみがくのは、「毎日」と回答した人の割合は、“1~5歳”で88.4%、“6~11歳”で48.8%だった。

23) 歯科医院に行くタイミング

【小学生以下は保護者】 【中学生・高校生は本人】

歯科健診を受けてご本人が治療を勧められた場合、どのくらい期間で歯科医院に行きますか（単数回答）



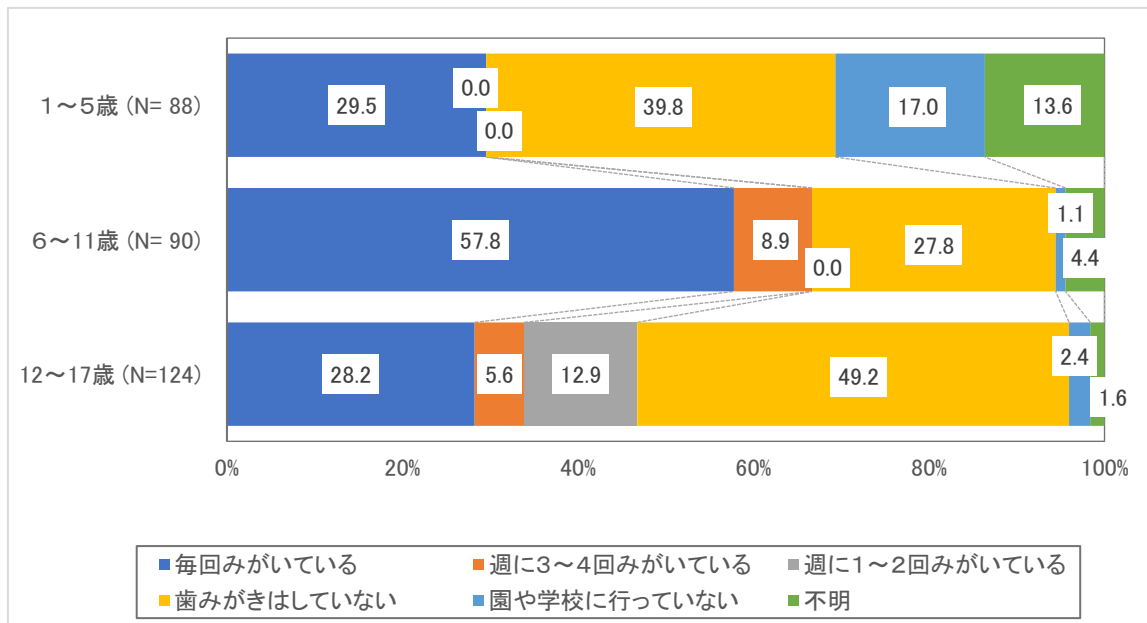
「勧められたらすぐ行く」と回答した人の割合が、“1～5歳”では58.0%、“6～11歳”では48.9%だった。

“12～17歳”では「既存の予定を調整して早く行く」と回答した人の割合の方が高かった。

24) 園や学校での歯みがき状況

【小学生以下は保護者】 【中学生・高校生は本人】

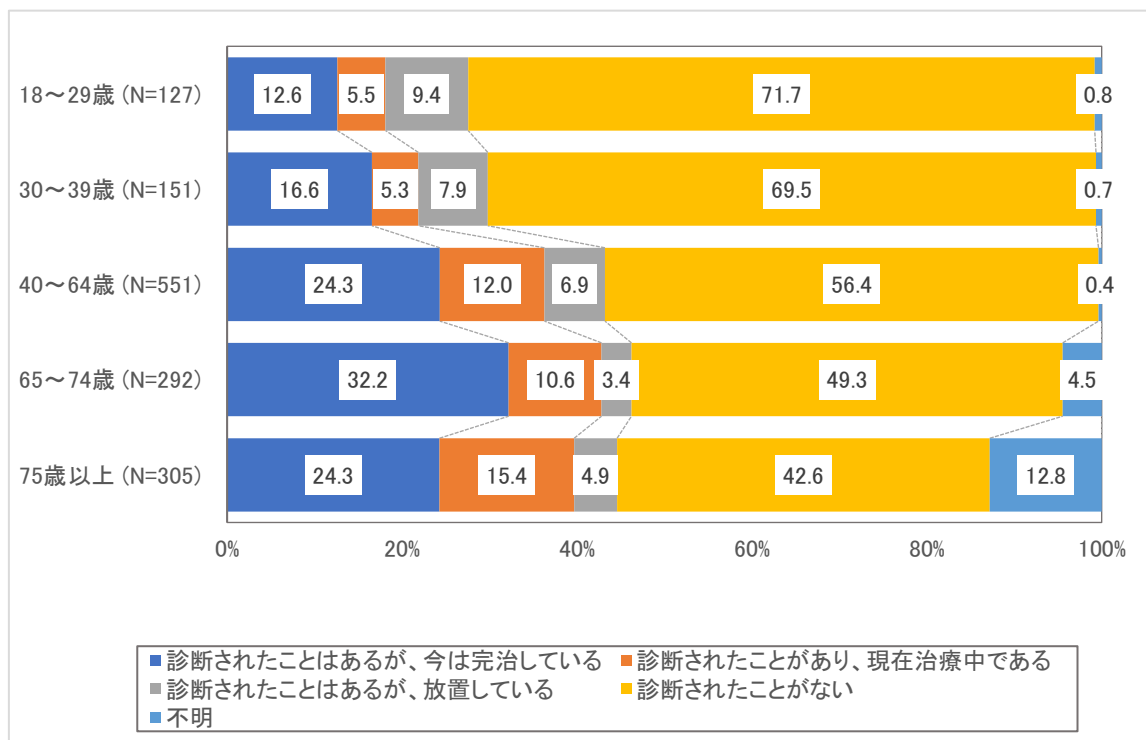
園や学校で昼食後、歯みがきをしていますか（単数回答）



園や学校での歯みがき状況では、「歯みがきしていない」と回答した人の割合が、“12~17歳”では49.2%であり、他の年齢層より高かった。

25) 『歯周病』や『歯肉炎』の診断状況

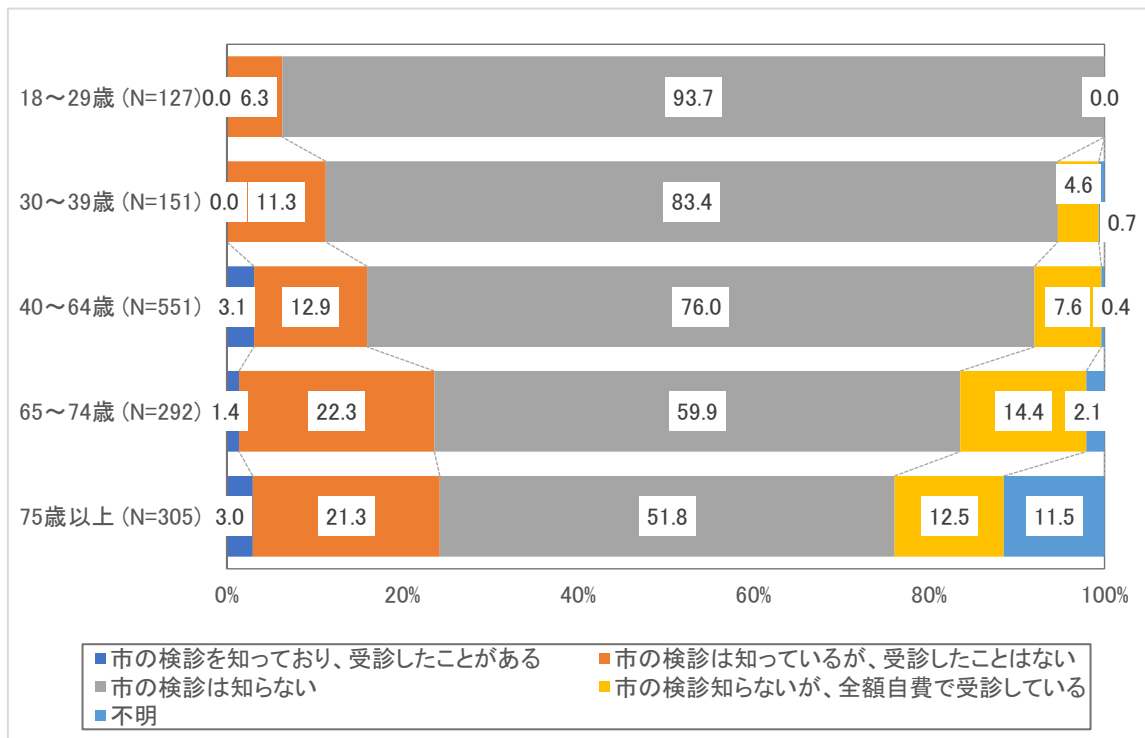
【18歳以上】 これまでに歯科検診などで歯科医師から『歯周病』や『歯肉炎』と診断されたことがありますか（単数回答）



『歯周病』や『歯肉炎』と「診断されたことはあるが、今は完治している」、「診断されたことがあり、現在治療中である」と回答した人を合わせた割合は、“65～74歳”が最も高かった。

26) 静岡市歯周病検診の認知度

【18歳以上】静岡市が40歳以上の市民を対象に低額で実施している『歯周病検診』を知っていますか（単数回答）

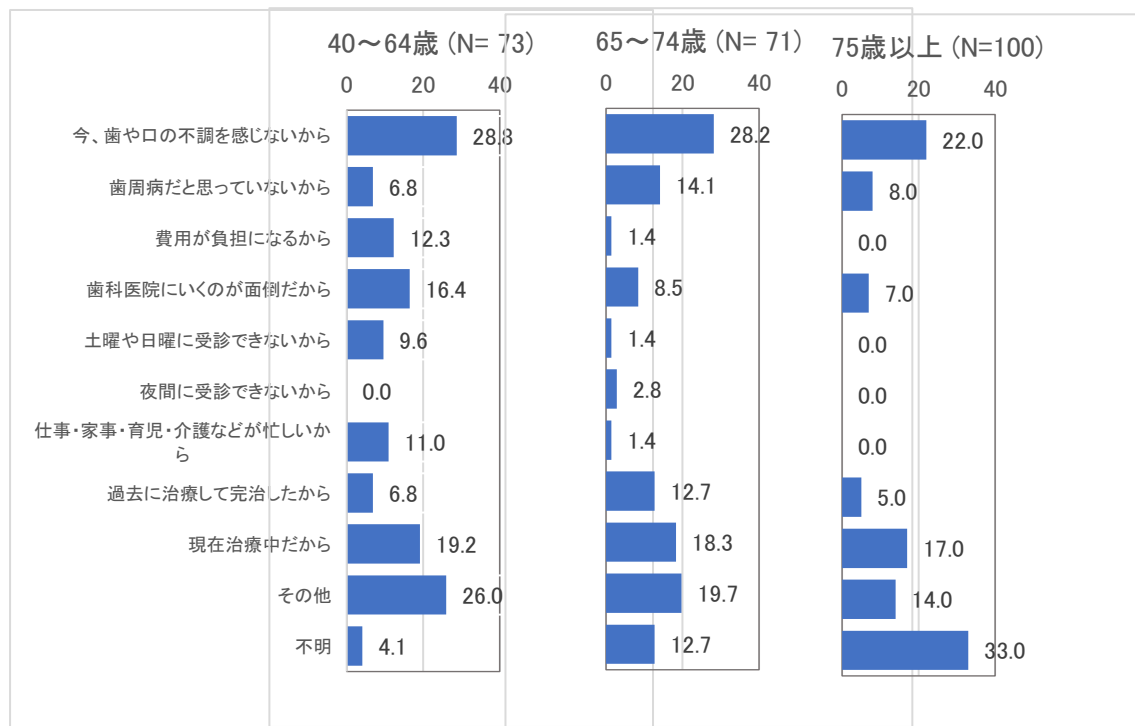


40歳以上の年齢層では、“40～64歳”で「市の検診は知らない」と回答した人の割合が76.0%で最も高かった。

27) 静岡市歯周病検診を受けない理由

前問（問26）において「市の検診は知っているが、受診したことはない」を選んだ人のみ回答

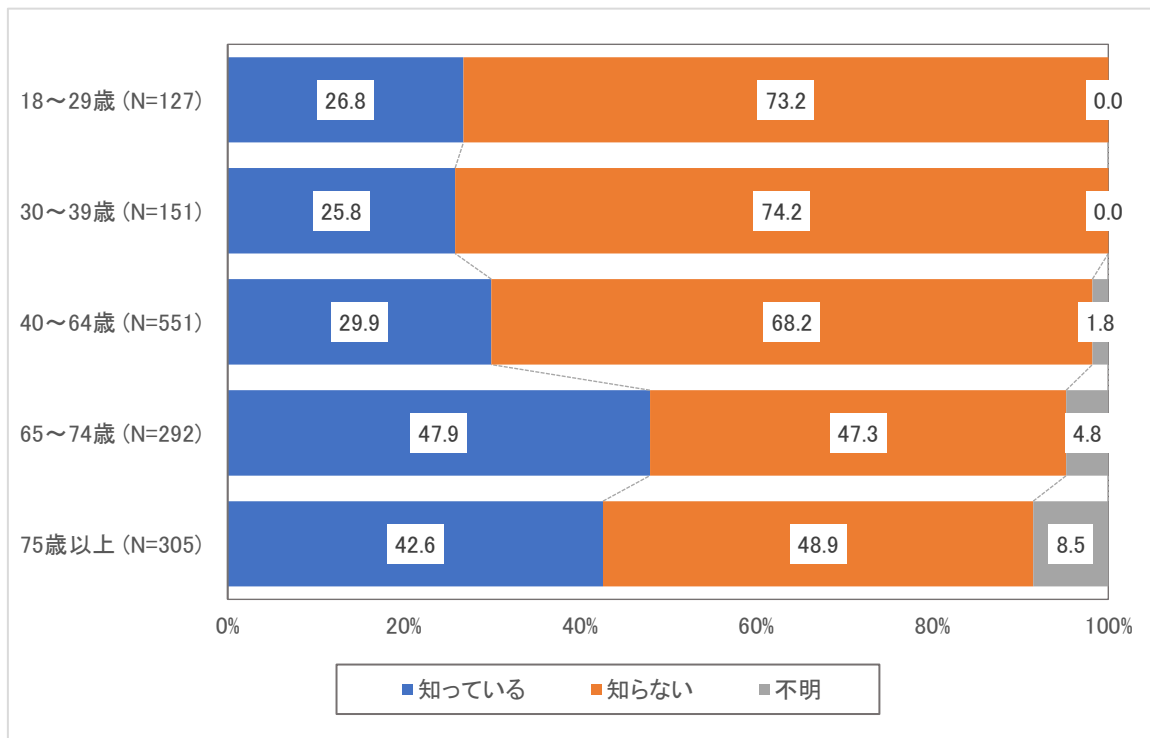
【40歳以上】歯周病検診を受診しない理由を教えてください（複数回答）



歯周病検診を受診しない理由は、“40～64歳”と“65～74歳”では「今、歯や口の不調を感じないから」と回答した人の割合が最も高かった。

28) むせ予防・だ液分泌促進のための体操の認知度

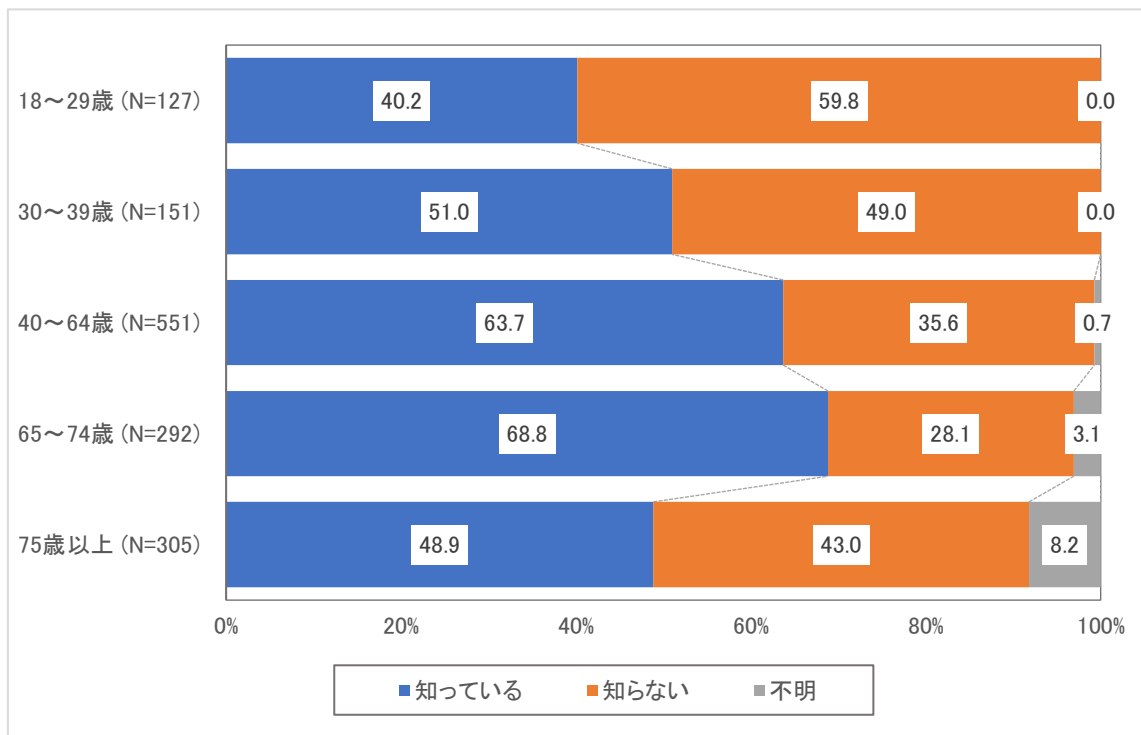
【18歳以上】 むせの予防やだ液の分泌を促進させるために、くちびる、頬、舌などを動かす体操があることを知っていますか（単数回答）



むせ予防・だ液分泌促進のための体操を知っていると回答した人の割合は、“65～74歳”が47.9%で最も高く、“30～39歳”が25.8%で最も低かった。

29) 歯周病と全身の病気との関係性の認知度

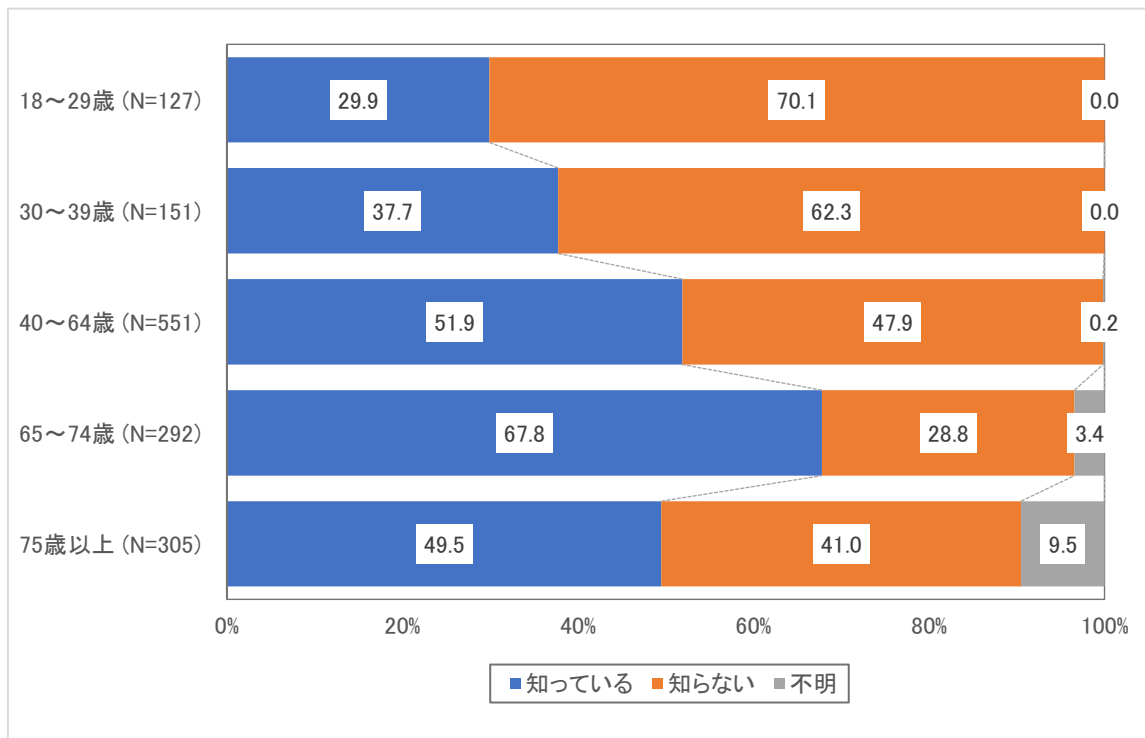
【18歳以上】『歯周病』がいろいろな病気（腎臓病・糖尿病・脳梗塞・心筋梗塞・狭心症・低体重児出産など）の症状を悪化させる場合があることを知っていますか（単数回答）



『歯周病』がいろいろな病気の症状を悪化させることを知っているという回答した人の割合は、“40～64歳” “65～74歳” では、6割以上を占めており、他の年齢層よりも高かった。

30) 歯と口の健康と誤嚥性肺炎・認知症との関係性の認知度

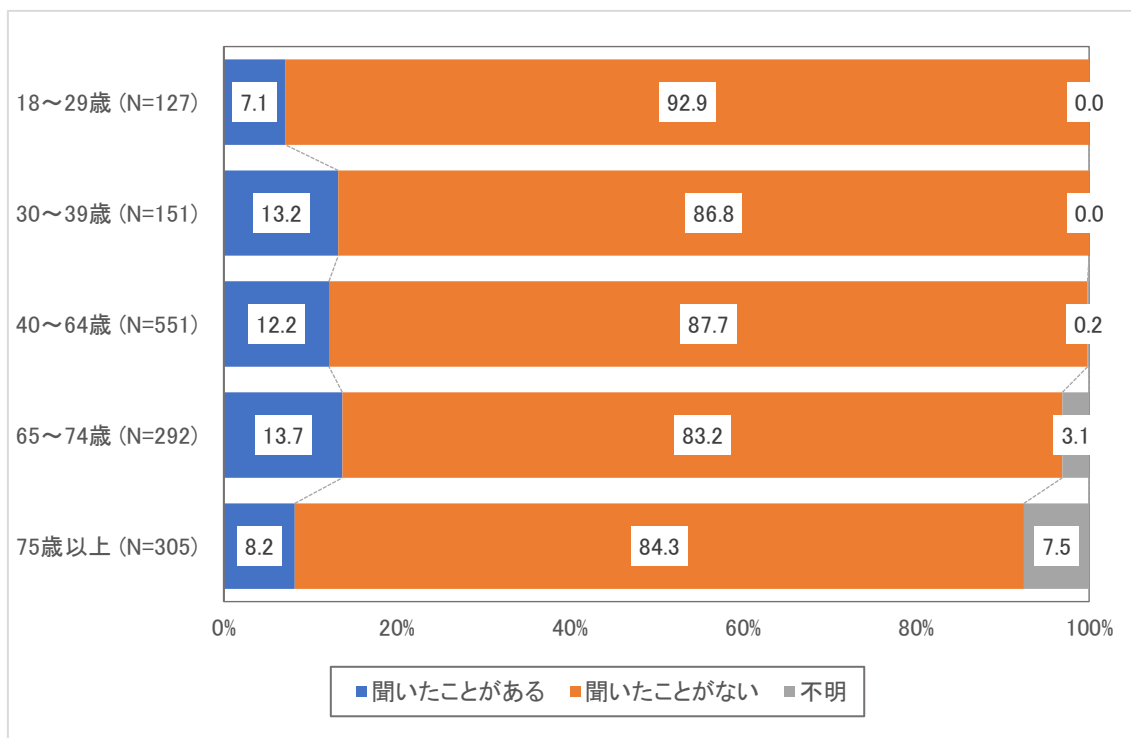
【18歳以上】歯と口が健康な状態を保てないと、誤嚥性肺炎や認知症の症状を悪化させる場合があることを知っていますか（単数回答）



歯と口の健康と誤嚥性肺炎・認知症との関連を「知っている」と回答した人の割合は、“65～74歳”が67.8%で最も高く、“18～29歳”が29.9%で最も低かった。

31) オーラルフレイルの認知度

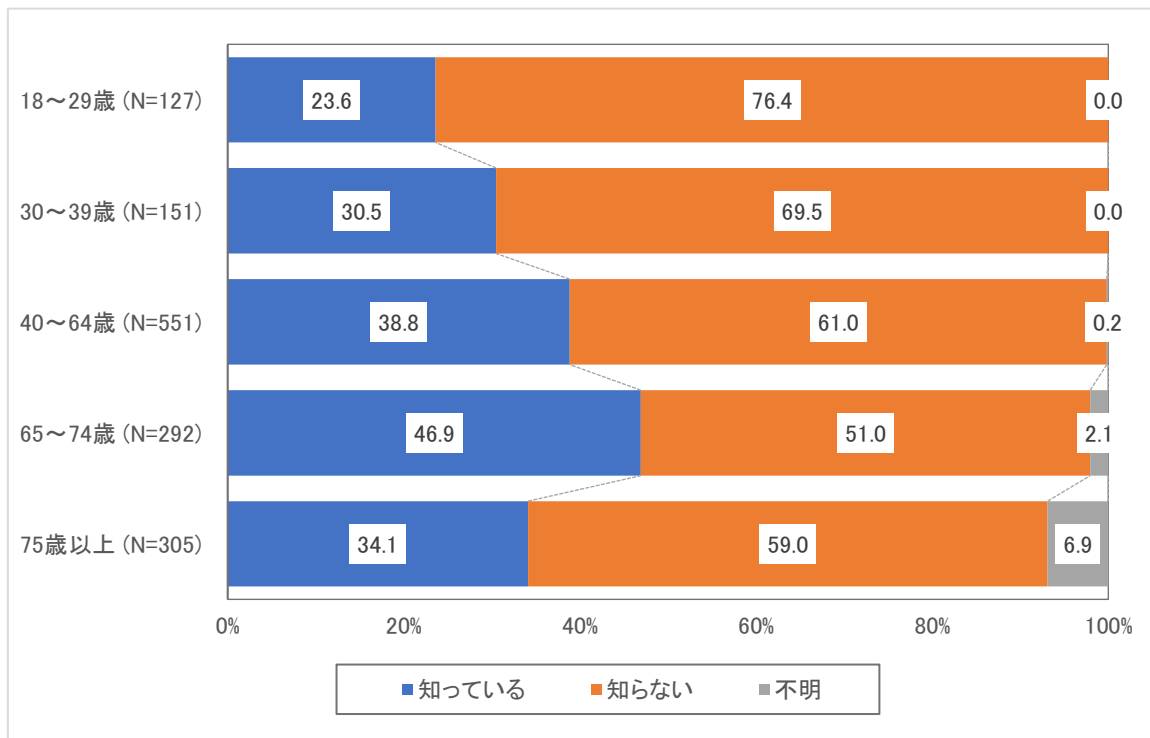
【18歳以上】『オーラルフレイル』という言葉を知っていますか（単数回答）



『オーラルフレイル』という言葉を知っていないと回答した人の割合は、全ての年齢層で8割以上を占めた。

32) 訪問歯科診療の認知度

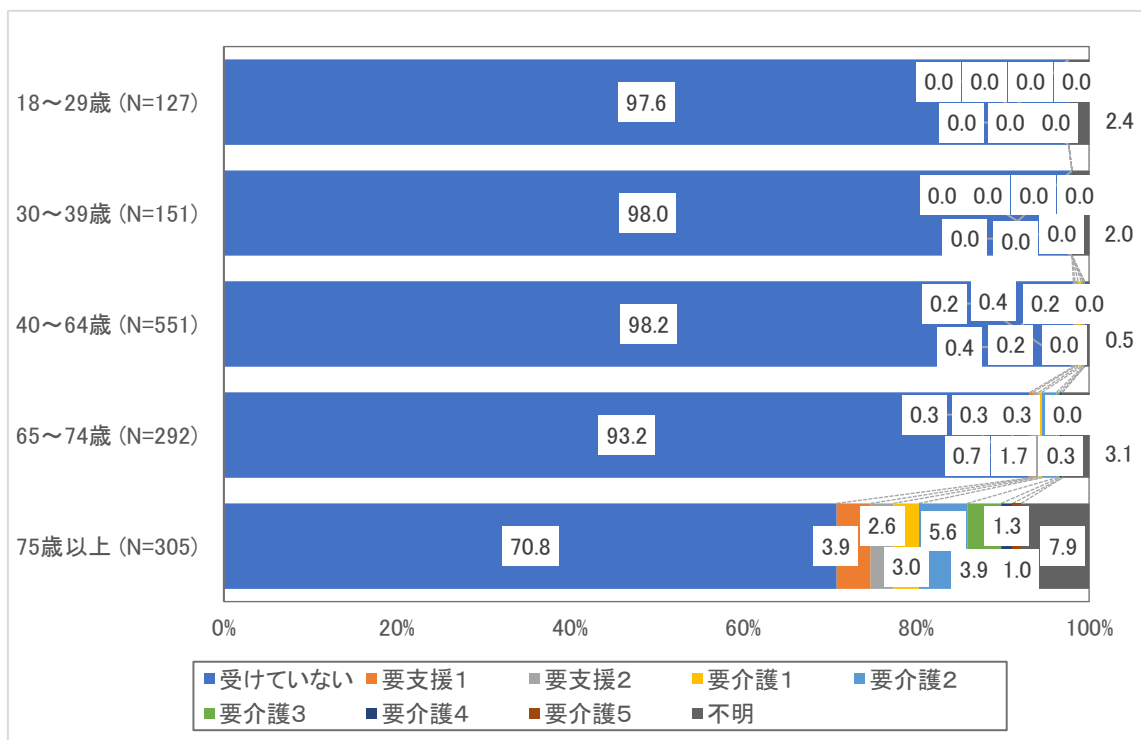
【18歳以上】寝たきりなどで歯科医院への通院が困難な場合に、歯科医師や歯科衛生士が訪問して、歯のケアや治療をすることができることを知っていますか（単数回答）



通院困難者に対する訪問による歯科治療等について「知っている」と回答した人の割合は、“65～74歳”が46.9%で最も高く、“18～29歳”が23.6%で最も低かった。

33) 要介護度の認定の有無

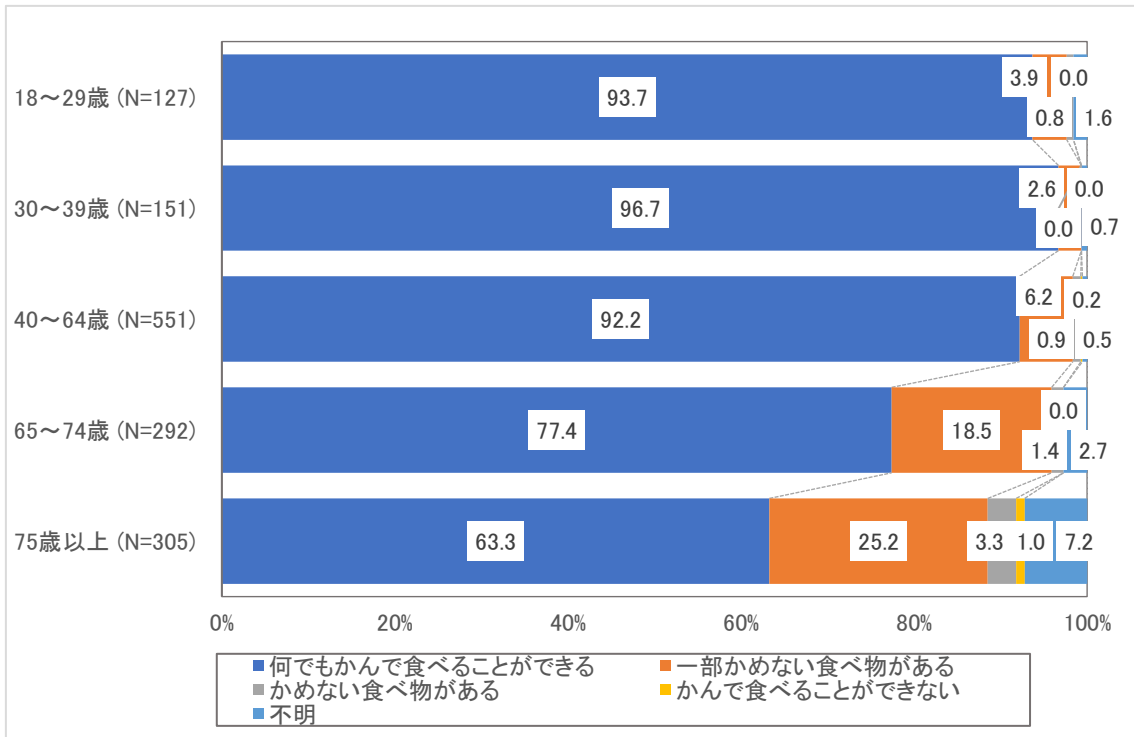
【18歳以上】介護保険制度における要介護の認定を受けていますか（単数回答）



要支援または要介護の認定を受けていると回答した人の割合は、“65～74歳”では3.7%、“75歳以上”では21.3%だった。

34) かんで食べる時の状況

【18歳以上】何でもかんで食べることができますか（単数回答）



18～64歳の成人期では「何でもかんで食べることができる」と回答した人の割合は、9割以上を占めており、65歳以上の高齢期より高かった。

静岡市 歯と口に関するアンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市の保健福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて静岡市では、“健康長寿のまち”の実現に向け、市民の皆様が生涯にわたり歯と口の健康を維持できるよう、今年4月に『静岡市歯と口腔の健康づくりの推進に関する条例』を施行し、市民、行政、関係者等が“オール静岡市”で歯と口の健康づくりを推進することになりました。

それに合わせ、城東保健福祉エリアに口腔保健支援センターを開設し、「歯と口の健康は、全身の健康の原点」という考えのもと、健康寿命延伸のための様々な取組を実施し、「健康長寿世界一の都市」を目指しています。

そのため、2020年度には「静岡市歯と口腔の健康づくりの推進に関する計画」を作成する予定であり、その基礎資料として、このたび、市民の皆様にご協力をお願いすることになりました。

つきましては、お忙しいところ誠にお手数ですが、本調査の趣旨をご理解のうえ、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

<調査票について>

- 1 この調査票は、無作為抽出した静岡市民 4,500人を対象に発送しております。
- 2 調査結果は、今後の市政運営の貴重な資料として活用させていただきます。
- 3 ご回答いただいた内容は、外部に漏れたり、他の目的に使用されたりすることはありません。
- 4 ご記入いただいた調査票は、**2019年8月21日(水)**までに、同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

<調査票記入時のお願い>

- 1 お名前を書いていただく必要はありません。
- 2 調査票に回答される方は、封筒の宛名の方をお願いいたします。ただし、ご本人が小学生以下の場合、また、病気やけがなどで、記入が難しい方は、代理の方がご本人についてご回答くださいますようお願い申し上げます。
- 3 ご記入は、濃い鉛筆やボールペンなど、はっきり読み取れる筆記用具をご使用ください。
- 4 ご回答は、あてはまる選択肢の□の中に✓をつけてください。
- 5 問20までは、すべての方にご回答をお願いします。
- 6 問21以降は、年代別にお答えいただく質問ですので、ご本人が該当する年代の質問にご回答ください。

2019年8月

静岡市長 田辺 信宏

(保健福祉長寿局健康福祉部健康づくり推進課)

<問合せ先>

静岡市 健康づくり推進課 口腔保健支援センター
担当：
電話：

問1 このアンケートの記入者は、封筒の宛名にお名前が記載されている“ご本人”ですか。該当するものに1つ✓を付けてください。

本人 代理人

問2 今年（2019年）4月1日時点のご本人の年齢に1つ✓を付けてください。

1～5歳（未就学児） 6～11歳（小学生）
 12～17歳（中学生・高校生） 18～29歳
 30～39歳 40～64歳
 65～74歳 75歳以上

問3 ご本人の性別に1つ✓を付けてください。

男性 女性 その他

問4 ご本人の居住地に1つ✓を付けてください。

葵区 駿河区
 清水区 その他

問5 ご本人は、この1年（2018年7月～2019年6月）で、歯科医院に行きましたか。該当するものに1つ✓を付けてください。

行った ⇒ 問6へ 行っていない ⇒ 問7へ

問6 前問で「行った」を選んだ方に伺います。ご本人が歯科医院に行った理由あるいは目的である病名や治療、健診など、該当するものに全部✓を付けてください。

むし歯 歯周病 入れ歯
 歯並び・かみ合わせ 口内炎 歯垢や歯石の除去
 歯科健診 その他（ ）

問7 ご本人は、歯や口に関して治療や相談ができる歯科医（いわゆる“かかりつけ歯科医”）がいますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

いる ⇒ 問9へ いない ⇒ 問8へ

- 問13 ご本人は、「むし歯や歯周病が口臭の原因になる場合がある」ことを知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 知っている 知らない
- 問14 ご本人は、「災害時に十分な口腔ケアができないと誤嚥性肺炎^{ごえん}*になる可能性がある」ことを知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- ※…飲み込む力や咳をする力が弱くなることで、食べ物やだ液などが誤って気管に入り、発症する肺炎
- 知っている 知らない
- 問15 ご本人は、「歯みがき」をしますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 1日3回以上 1日2回 1日1回
 ときどきしない日がある ほとんどしない
- 問16 ご本人は、歯みがきをしていて出血することはありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 毎回出血する ときどき出血する
 出血しない
- 問17 ご本人は、「デンタルフロス（糸ようじ）」や「歯間ブラシ」を使っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- ほぼ毎日使っている ときどき使っている
 使っていない
- 問18 ご本人は、むし歯予防のために、フッ素を使った製品などで歯のケアをしていますか。該当するものに全部✓を付けてください。
- 歯科医院でフッ素を塗ってもらう
 フッ素入りのうがい液を使っている
 フッ素入り歯みがき剤を使っている
 利用していない
- 問19 ご本人は、1日1食以上、家族や友人とともに食事をしますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- ほぼ毎日する 週に3～5日
 週に1～2日 ほとんどしない

問23・問24は、小学生以下の方は保護者が、中学生・高校生の方はご本人がお答えください

問23 歯科健診を受けてご本人が治療を勧められた場合、どのくらいの期間で歯科医院に行きますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 勧められたらすぐに行く 既存の予定を調整して早く行く
 痛みを感じたら行く 痛みが我慢できなくなったら行く
 行かない

問24 園や学校で昼食後、歯みがきをしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 毎回みがいている 週に3～4回みがいている
 週に1～2回みがいている 歯みがきはしていない
 園や学校に行っていない

問25～問34は、ご本人が18歳以上の方がお答えください。

問25 ご本人は、これまでに歯科検診などで歯科医師から「歯周病」や「歯肉炎」と診断されたことがありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 診断されたことはあるが、今は完治している
 診断されたことがあり、現在治療中である
 診断されたことはあるが、放置している
 診断されたことがない

問26 ご本人は、静岡市が40歳以上の市民を対象に低額で実施している「歯周病検診」を知っていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 市の検診を知っており、受診したことがある ⇒ 問28へ
 市の検診は知っているが、受診したことはない ⇒ 問27へ
 市の検診は知らない ⇒ 問28へ
 市の検診は知らないが、全額自費で受診している ⇒ 問28へ

問33 ご本人は、介護保険制度における要介護の認定を受けていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 受けていない | <input type="checkbox"/> 要支援1 | <input type="checkbox"/> 要支援2 |
| <input type="checkbox"/> 要介護1 | <input type="checkbox"/> 要介護2 | <input type="checkbox"/> 要介護3 |
| <input type="checkbox"/> 要介護4 | <input type="checkbox"/> 要介護5 | |

問34 ご本人は、何でもかんで食べることができますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 何でもかんで食べることができる
- 一部かめない食べ物がある
- かめない食べ物が多い
- かんで食べることができない

問35 本市が取り組む、歯や口の健康づくりについて、普段、感じられていることがあれば、ご自由にお書きください。

例. 幼稚園や保育園の段階で、歯磨きやうがいを習慣化させてほしい。

お忙しいところ、アンケートのご協力、ありがとうございました。
調査票を同封の封筒に入れ、8月21日(水)までに切手を貼らずにご投函ください。

静岡市内事業所向け調査

【調査対象先の抽出方法】

- ① 本調査では、平成28年経済センサスー活動調査ーから、本調査の業種分類に沿った静岡市内事業所の業種比率を算出（図表1）。
- ② 静岡経済研究所が発行する「2019 静岡県会社要覧」より、静岡市内を所在地とする1,218事業所を、本アンケート調査で設定した8つの業種に分類。
- ③ 調査サンプル数である500先に合わせて、業種ごとの抽出事業所数を算出して、業種ごとに乱数を発生させて必要数を抽出（図表2）。

図表1 静岡市内の事業所数

業 種	事業所数	事業比率	
A 農業, 林業	49	0.14	→ 農林水産業
B 漁業	19	0.05	
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	5	0.01	→ 建設業
D 建設業	3,340	9.49	
E 製造業	3,366	9.56	→ 製造業
F 電気・ガス・熱供給・水道業	21	0.06	→ サービス業
G 情報通信業	344	0.98	→ 運輸・通信業
H 運輸業, 郵便業	812	2.31	
I 卸売業, 小売業	9,768	27.75	→ 卸売・小売業
J 金融業, 保険業	703	2.00	→ サービス業
K 不動産業, 物品賃貸業	2,123	6.03	
L 学術研究, 専門・技術サービス業	1,563	4.44	
M 宿泊業, 飲食サービス業	4,097	11.64	→ 宿泊・飲食業
N 生活関連サービス業, 娯楽業	3,014	8.56	→ その他
O 教育, 学習支援業	1,064	3.02	
P 医療, 福祉	2,386	6.78	→ 医療・福祉
R サービス業 (他に分類されないもの)	163	6.69	→ サービス業
合 計	35,194	100.00	

資料：総務省「平成28年経済センサス」

図表2 静岡県会社要覧からの業種別抽出数

業 種	抽出数
農林水産業	1
製造業	48
建設業	47
卸売・小売業	139
運輸・通信業	17
サービス業	160
宿泊・飲食業	17
医療・福祉	23
その他	48
合 計	500

資料：静岡経済研究所「2019静岡県会社要覧」

【調査方法】

- ① 抽出した500社の静岡市内事業所に対して、7月31日に郵送でアンケート発送した。回答期限を8月21日に設定したが、10月末まで回答があった243社で集計作業を行った。

図表3 アンケート発送・回収状況

発送数	500社
回収数	243社
回収率	48.6%

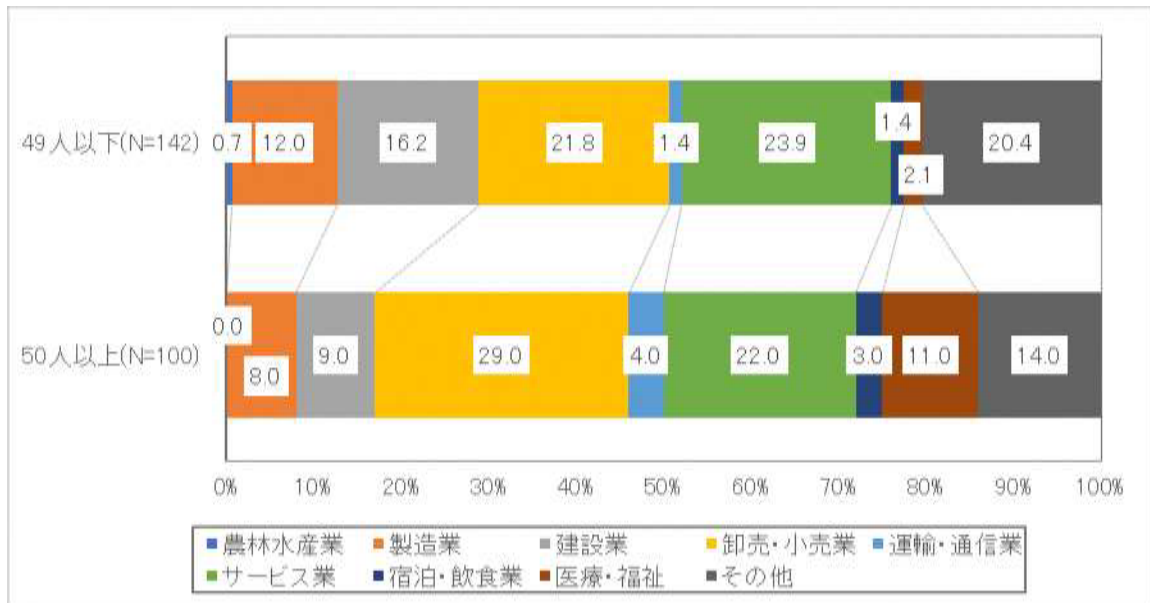
※…10月末日到着分まで

【集計処理】

- ① 当該質問に年齢等で回答権がない場合には、記入があっても「非該当」として取り扱った。
- ② “回答が未記入”、もしくは“指定回答数を上回る回答”があった場合には、すべてを「不明」として取り扱った。
- ③ 「非該当」は、有効回答として認めない。
- ④ 回答比率の合計は、端数処理（四捨五入）している関係で、表示した比率の単純合計の値が100%にならない場合がある。
(例. 選択肢3つの質問に3人が別々の選択肢を選んだ場合、各項目の比率33.3%、合計値は100.0%となる)
- ⑤ 事業所規模「従業員数 49人以下/50人以上」の2区分で層別分析をおこなった。

1) 業種

主要な業種を教えてください（単数回答）

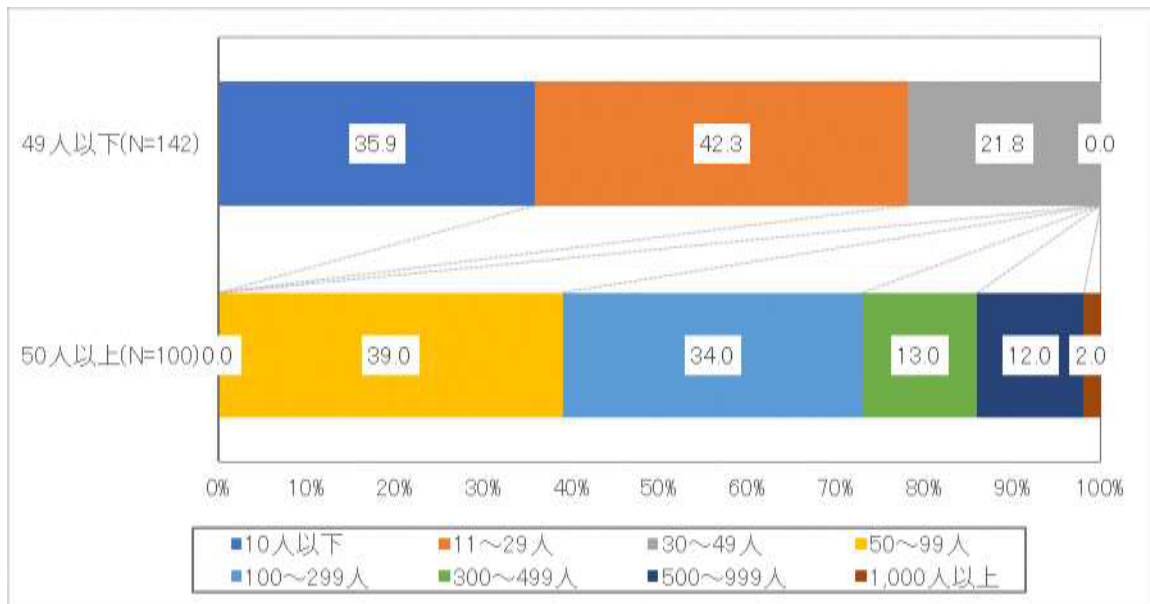


“49人以下の事業所”では、「サービス業」が23.9%と最も高く、次いで「卸売・小売業」が21.8%、「その他」が20.4%だった。

“50人以上の事業所”では、「卸売・小売業」が29.0%と最も高く、次いで「サービス業」が22.0%、「その他」が14.0%だった。

2) 従業員数

従業員数（非正規社員を含む）を教えてください（単数回答）

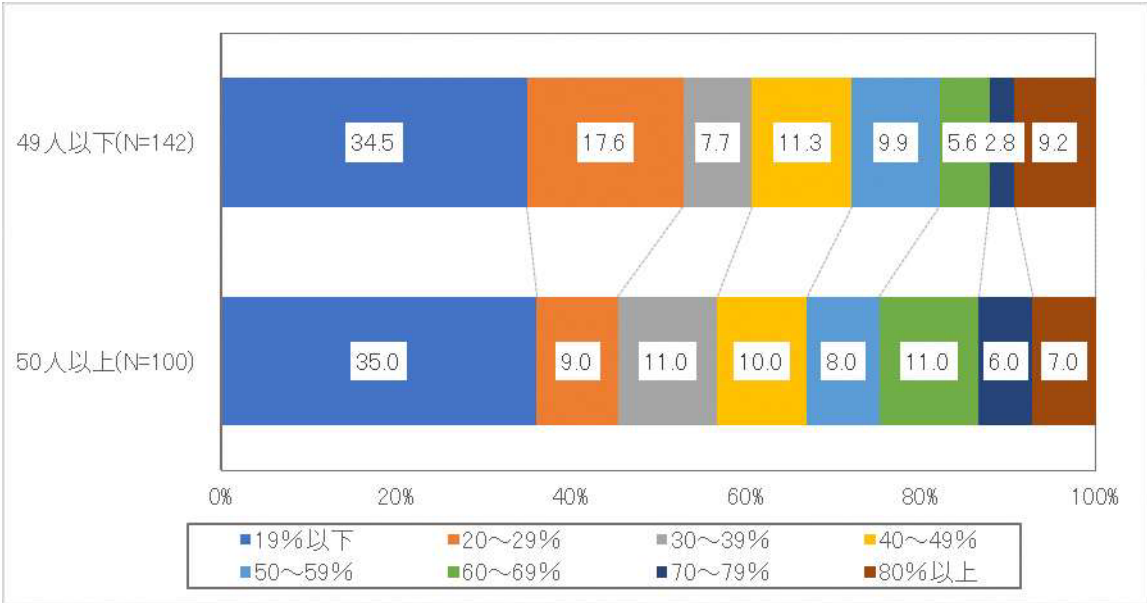


“49人以下の事業所”では、「11~29人」の割合が42.3%と最も高く、次いで「10人以下」が35.9%だった。

“50人以上の事業所”では、「50~99人」の割合が39.0%と最も高く、次いで「100~299人」が34.0%だった。

3) 女性従業員比率

女性従業員比率を教えてください（単数回答）

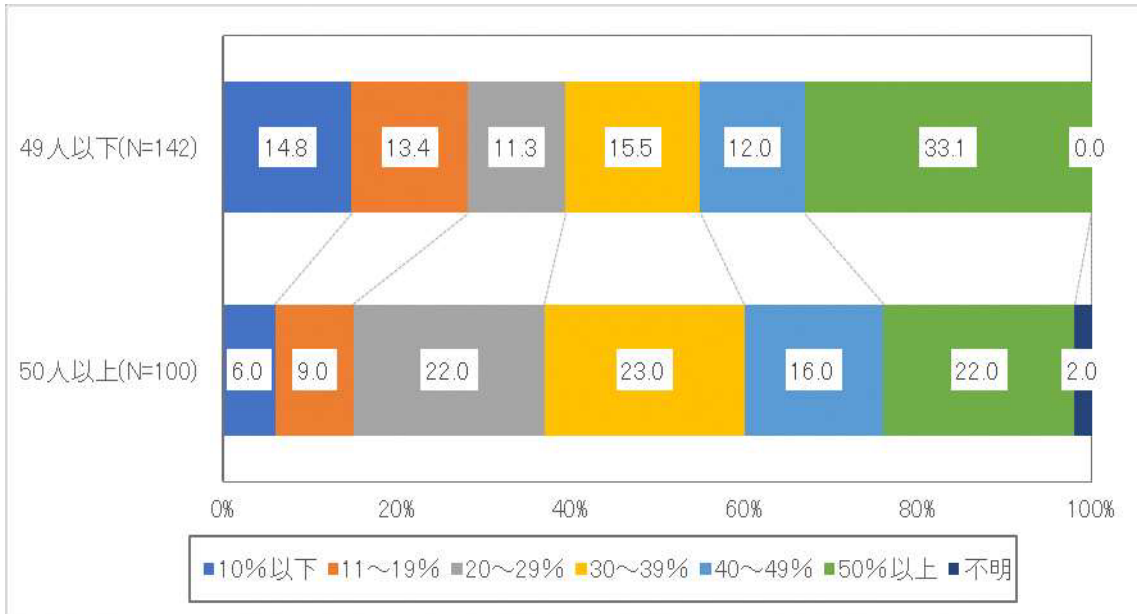


“49人以下の事業所” “50人以上の事業所” とともに「19%以下」が最も高かった。

“49人以下の事業所” では、「19%以下」 「20~29%」 を合わせると、52.1%で全体の半数以上を占めた。

4) 50歳以上の従業員比率

50歳以上の従業員比率を教えてください（単数回答）

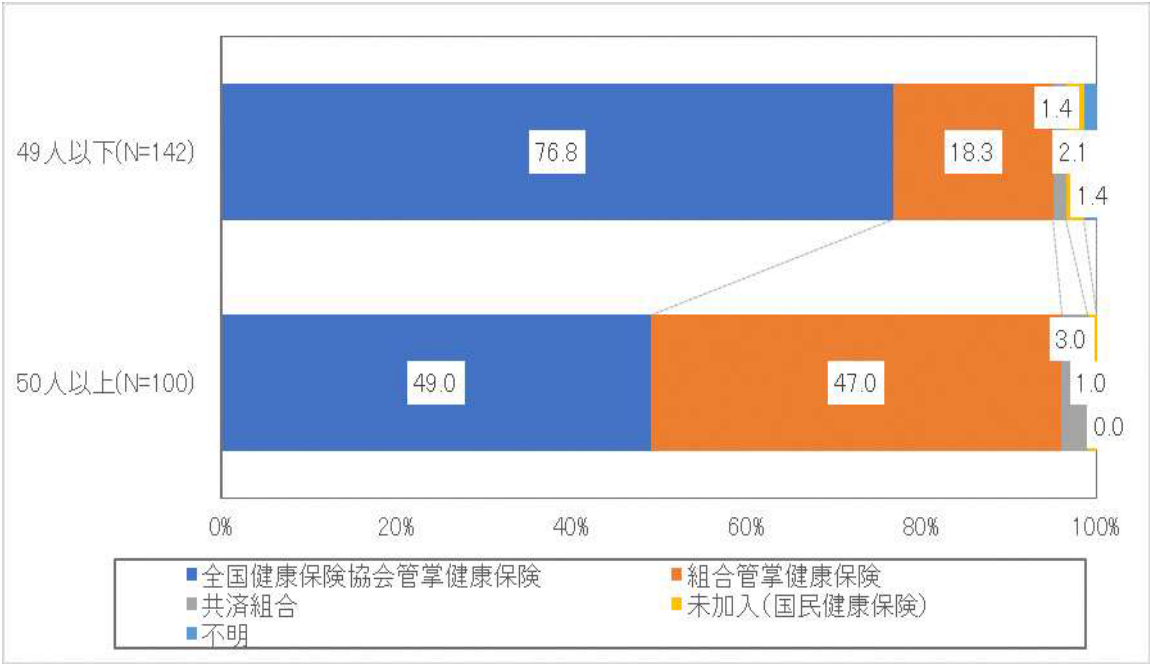


“49人以下の事業所”では、「50%以上」の割合が33.1%と最も高かった。

“50人以上の事業所”では、「30~39%」の割合が23.0%と最も高かった。

5) 被用者保険の種類

貴社が加入する被用者保険を教えてください（単数回答）

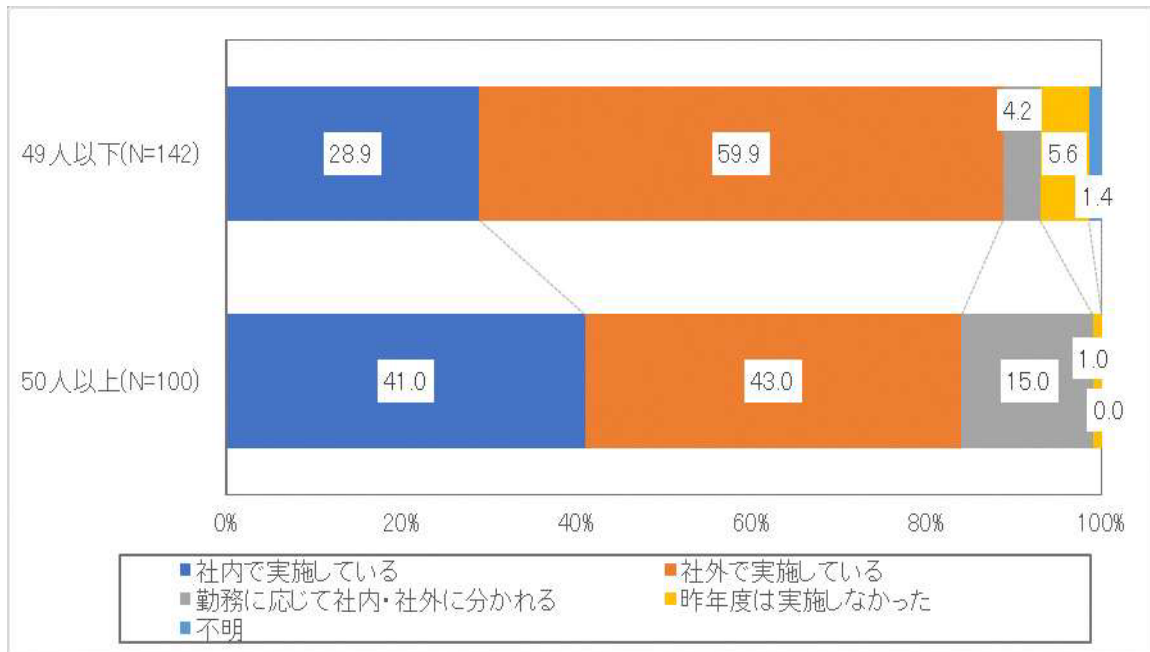


“49 人以下の事業所”では、全体の 7 割以上が「全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）」だった。

“50 人以上の事業所”は、「全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）」の割合が 49.0%、「組合管掌健康保険（組合けんぽ）」の割合が 47.0%だった。

6) 健康診断の実施の有無

昨年度、健康診断を実施していますか（単数回答）

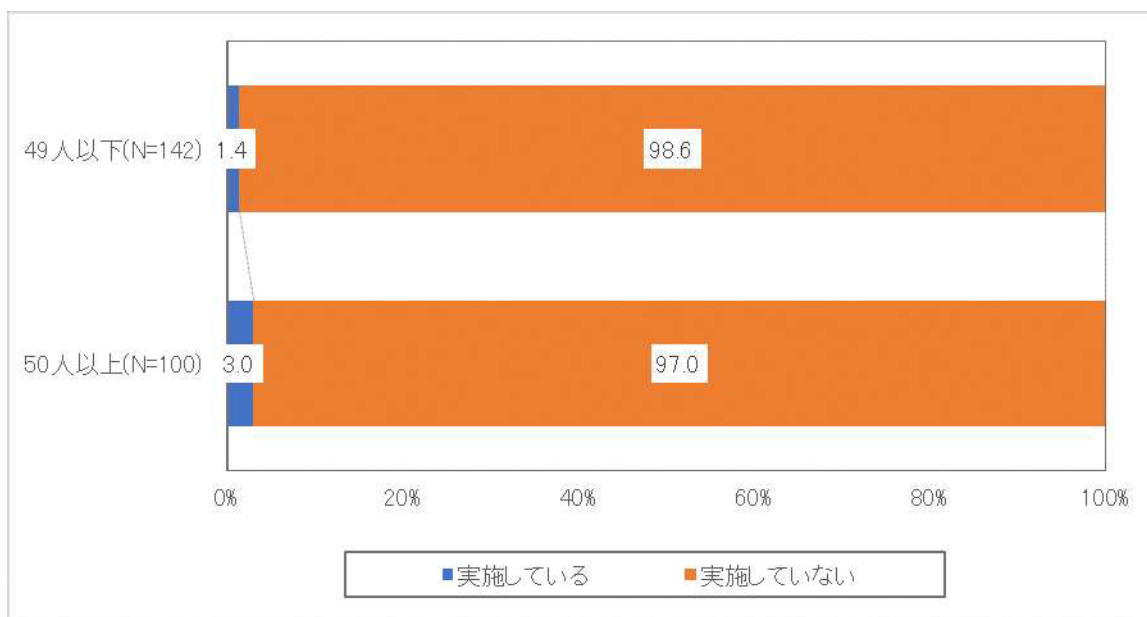


“49 人以下の事業所”では、「社外で実施している」の割合が 59.9%で最も高かった。

“50 人以上の事業所”では、「社内で行っている」の割合が 41.0%、「社外で実施している」の割合が 43.0%だった。

7) 健康診断における歯科健診の実施の有無

貴社の健康診断では、歯科に関する健診（歯科健診）を実施していますか（単数回答）

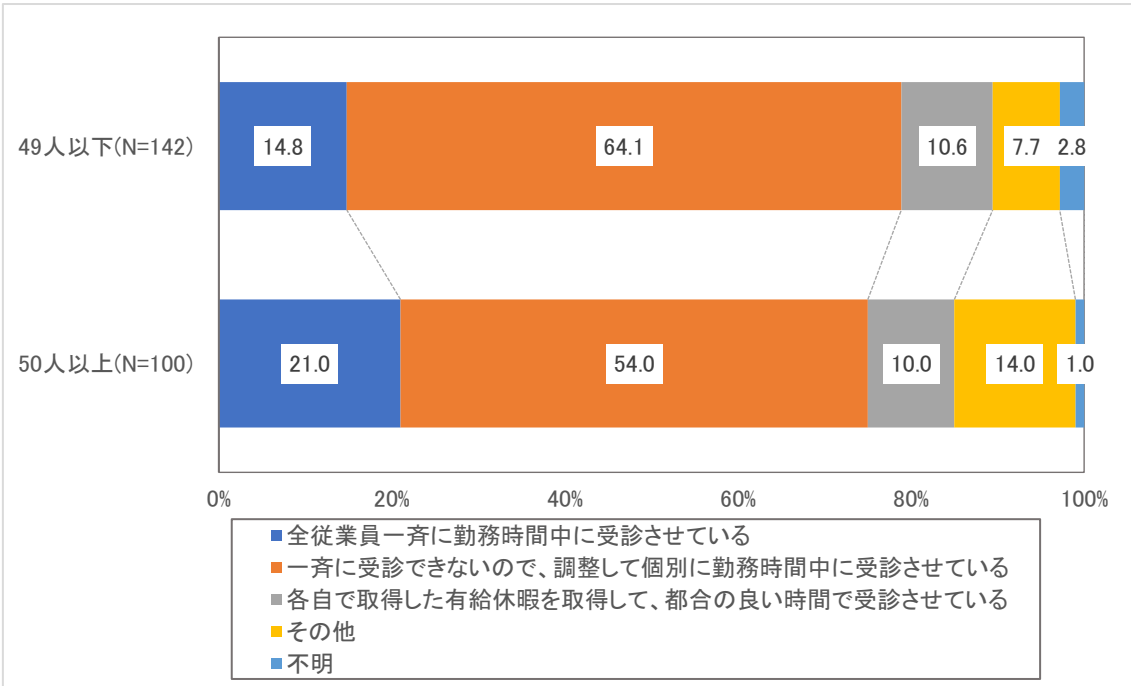


歯科健診を実施していると回答した事業所は“49人以下の事業所” “50人以上の事業所”ともに、3.0%以下だった。

（“49人以下の事業所”では、142社中2社、“50人以上の事業所”では100社中3社で、歯科健診を実施していると回答した。）

8) 健康診断や歯科健診の受診時間の状況

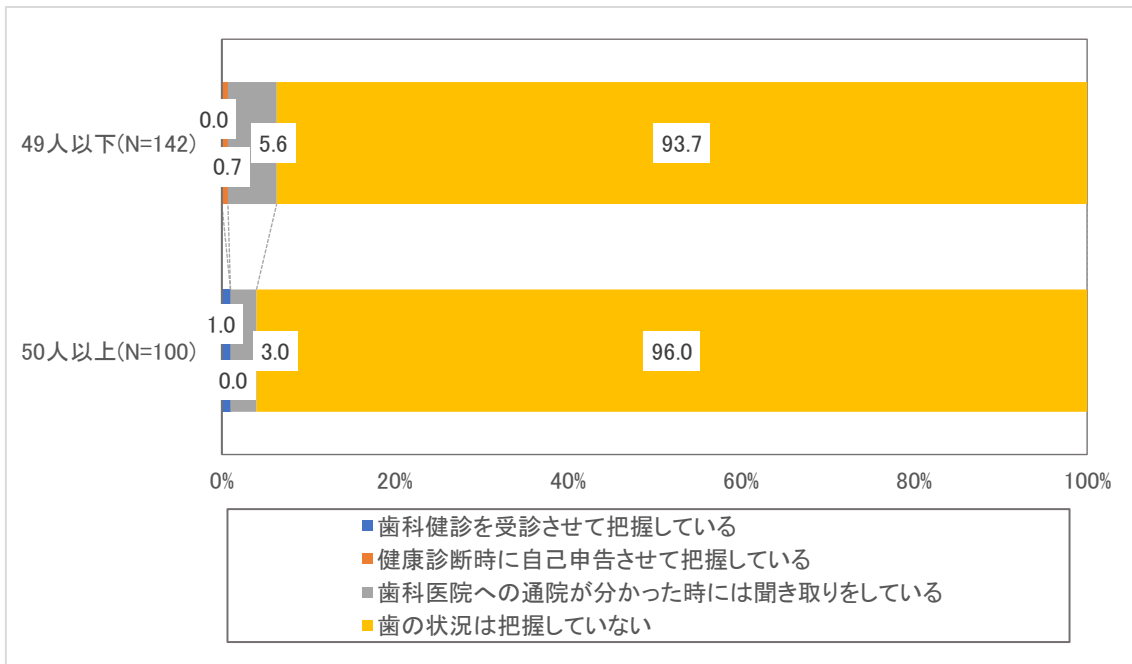
健康診断や歯科健診は、勤務時間中に受診できますか（単数回答）



“49人以下の事業所” “50人以上の事業所” とともに、「一斉に受診できないので、調整して個別に勤務時間中に受診させている」と回答した割合が最も高かった。

9) 従業員の歯の病気についての把握状況

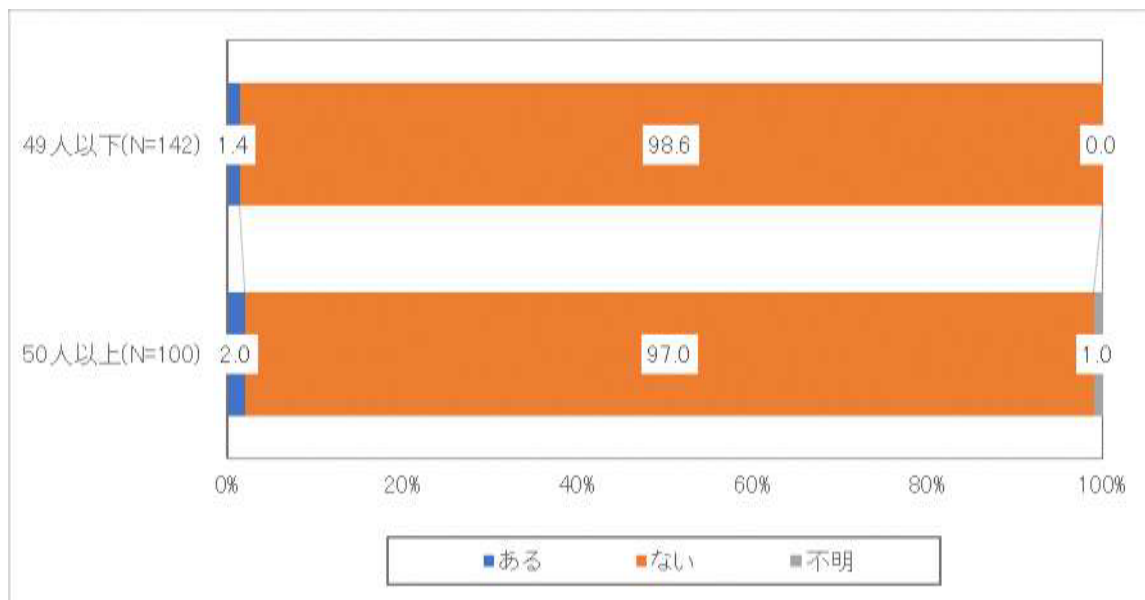
従業員の歯の病気について把握していますか（単数回答）



“49人以下の事業所” “50人以上の事業所” とともに、「歯の状況は把握していない」と回答した割合が全体の9割以上だった。

10) 静岡市歯周病検診の告知・周知の状況

静岡市では、40歳以上の市民を対象に低額で受けられる『歯周病検診』を行っています。
事業所として、従業員に対して制度を告知・周知したことはありますか（単数回答）

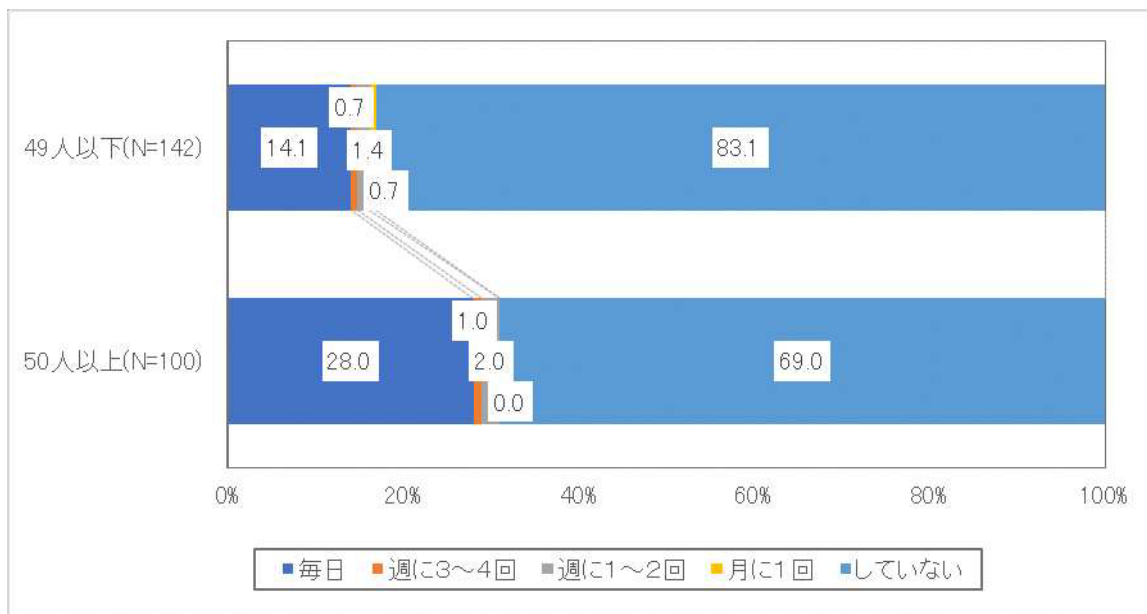


制度の告知・周知をしたことがあると回答した事業所は、“49人以下の事業所” “50人以上の事業所”ともに、2.0%以下と低かった。

（“49人以下の事業所”は、142社中2社、“50人以上の事業所”は100社中2社で、静岡市歯周病検診の告知・周知をしたことがあると回答した。）

11) 定刻での体操の実施状況

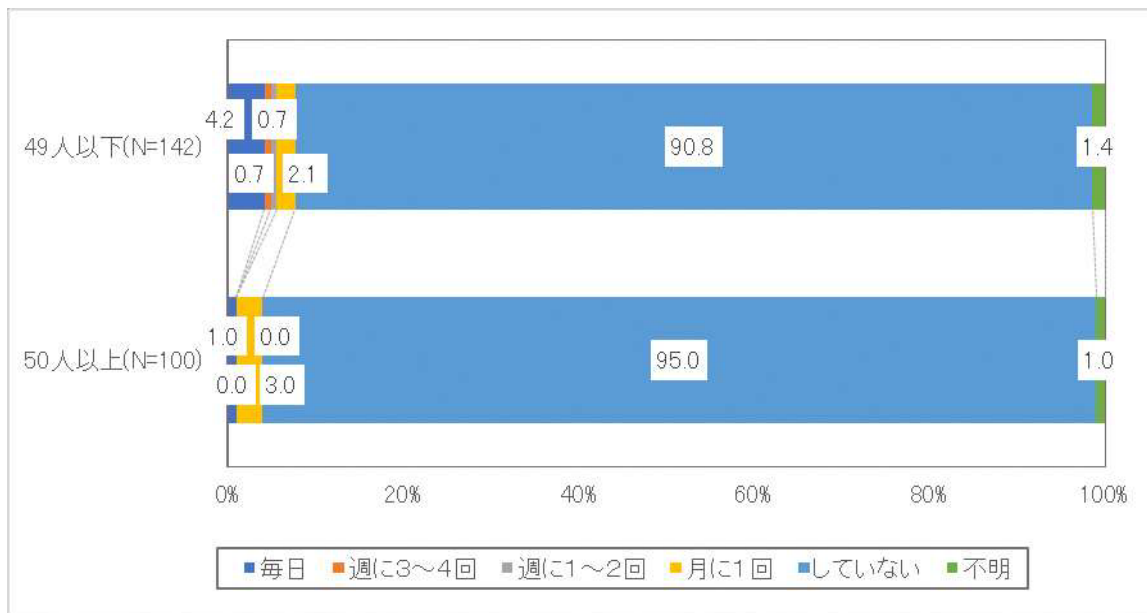
決まった時間に全従業員が体操（ラジオ体操、表情を豊かにするための体操や発声練習など）をしていますか（単数回答）



「決まった時間に全従業員が体操をしている」と回答した割合は、“49人以下の事業所”が16.9%、“50人以上の事業所”が31.0%だった。

12) 上司や同僚による健康状態のチェックの有無

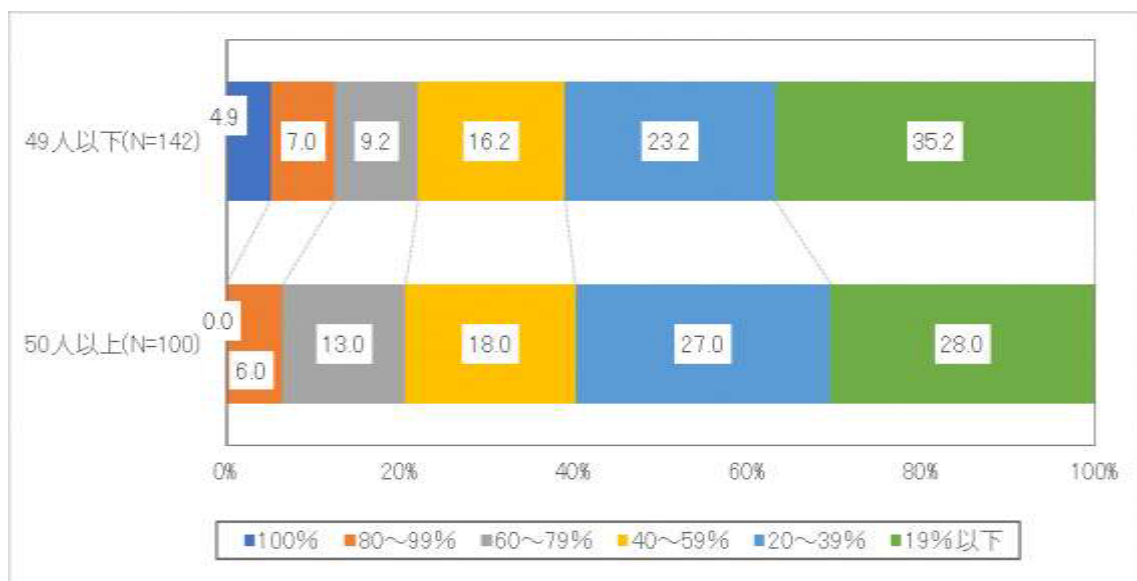
上司や同僚による健康状態のチェック（問診や測定器具を使ったチェックなど）をしていますか（単数回答）



上司や同僚による健康状態のチェックをしていると回答した割合は、“49人以下の事業所”が7.7%、“50人以上の事業所”が4.0%だった。

13) 従業員の歯みがきの実施状況

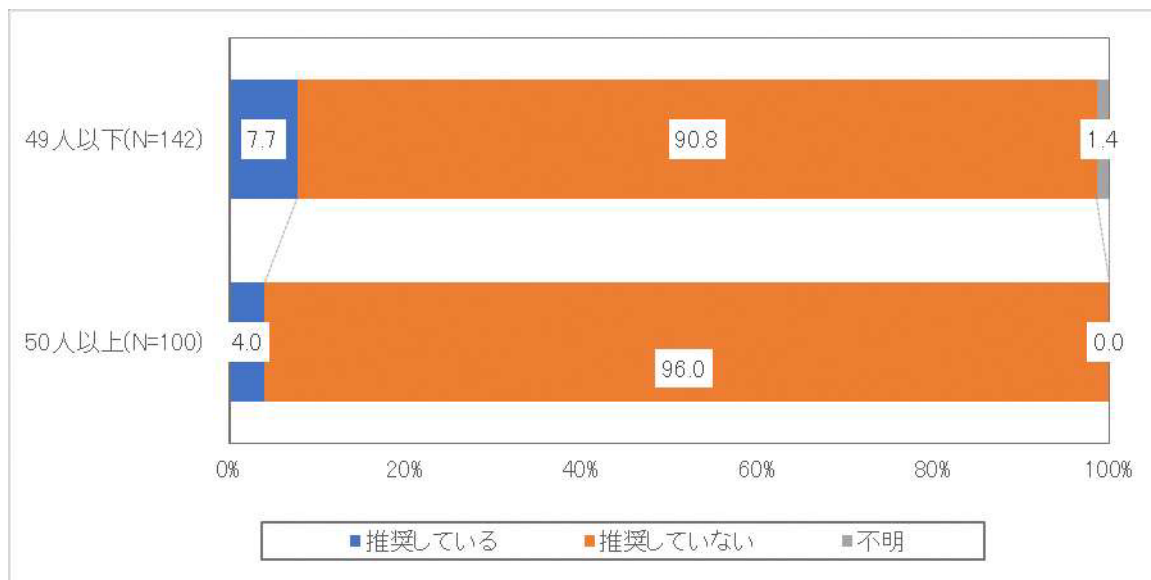
食事の後に歯みがきしている人は従業員の何割くらいですか（単数回答）



食事の後に歯みがきしている従業員の割合は“49人以下の事業所” “50人以上の事業所”ともに、「19%以下」が最も高かった。

14) 昼食後の歯みがき推奨の実施の有無

従業員に昼食後の歯みがきを推奨（社内報や朝礼時の定期的な周知、手洗い場への貼紙など）をしていますか（単数回答）

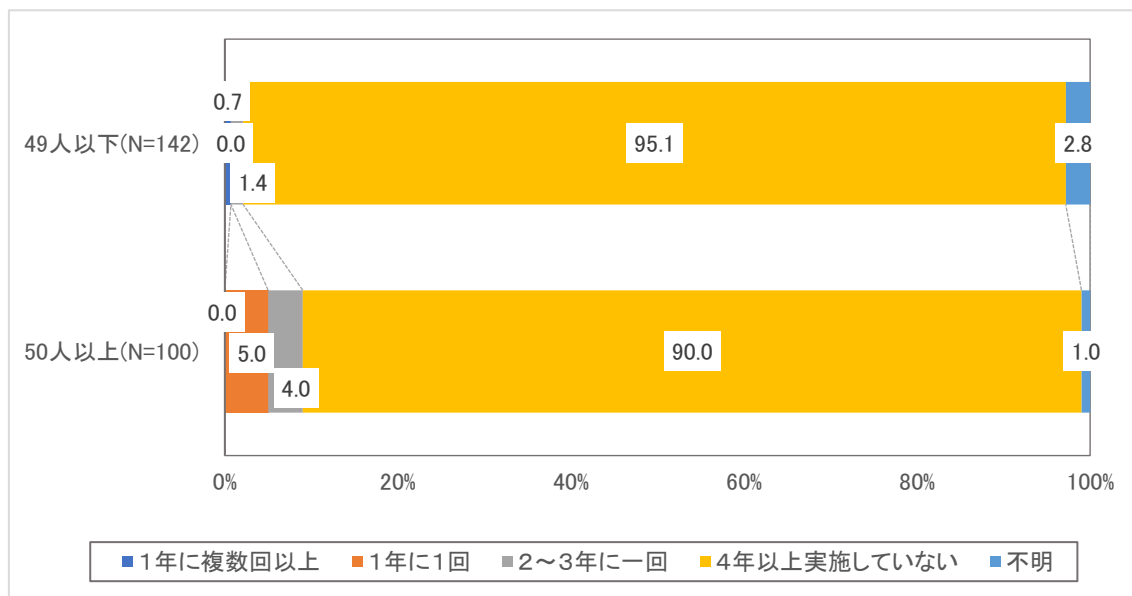


従業員への昼食後の歯みがきを推奨していると回答した割合は、“49人以下の事業所”が7.7%、“50人以上の事業所”が4.0%で、“49人以下の事業所”の方が高かった。

（“49人以下事業所”では、142社中11社、“50人以上の事業所”では、100社中4社で、昼食後の歯みがきを推奨していると回答した。）

15) 正しい歯みがき方法の指導の有無

従業員に正しい歯みがき方法を、どのくらいの頻度で指導していますか（単数回答）

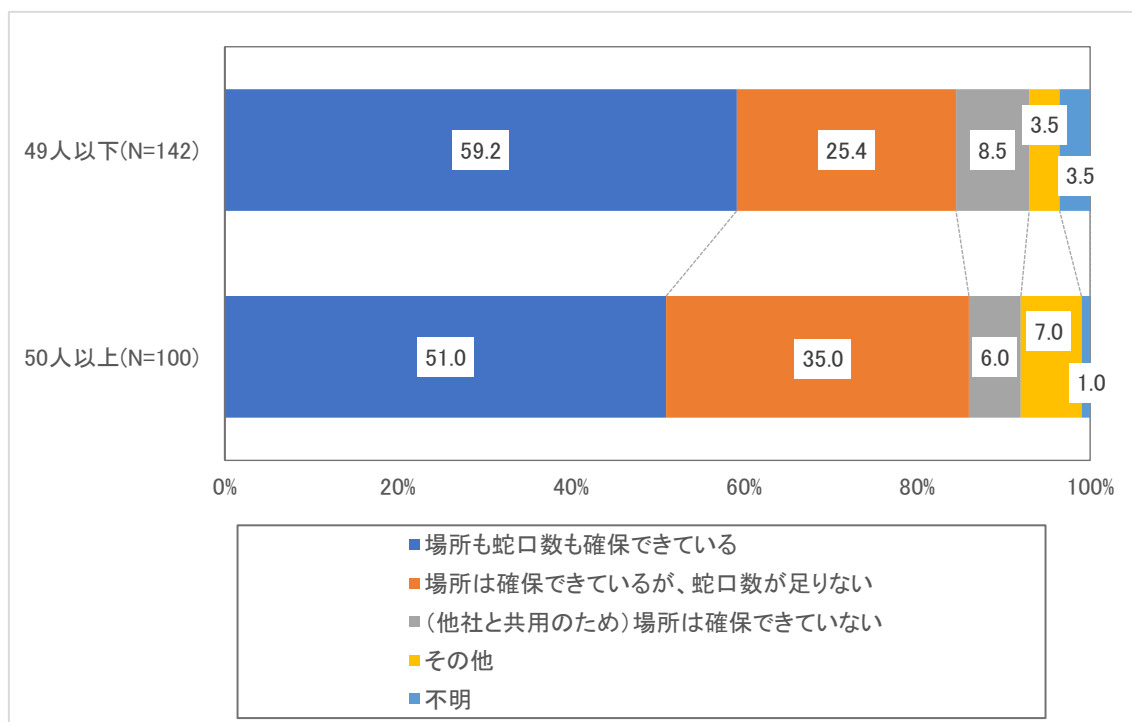


“49人以下の事業所” “50人以上の事業所” とともに、「4年以上実施していない」と回答した割合が90%以上だった。

（“49人以下事業所”では、142社中1社、“50人以上の事業所”では、100社中5社で、1年に1回以上、正しい歯みがき方法の指導をしていると回答した。）

16) 菌みがきをする場所の状況

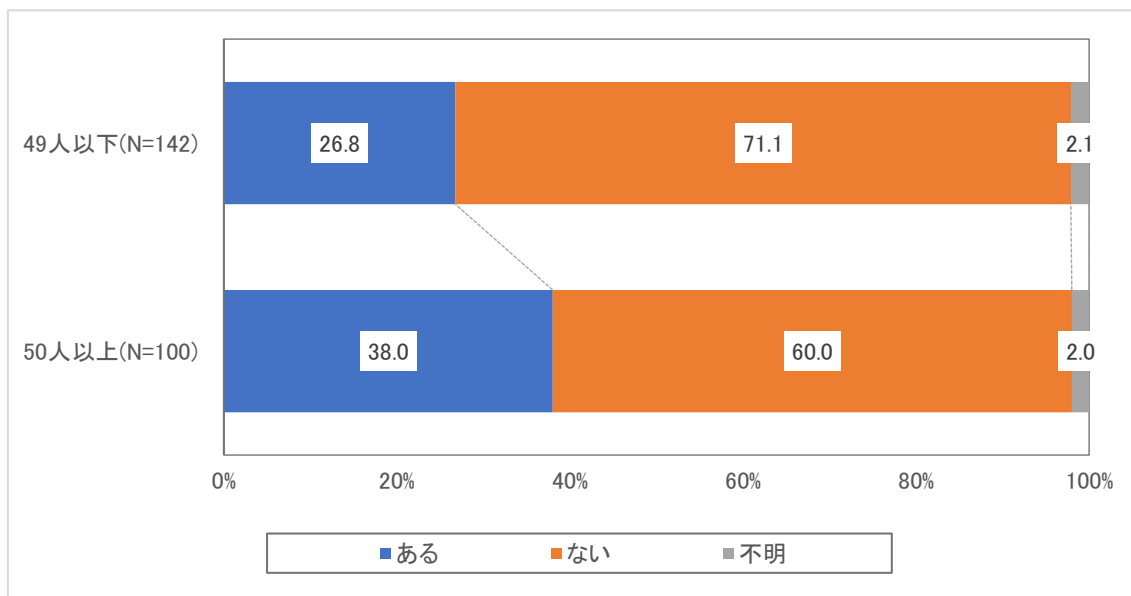
従業員が菌みがきする場所が確保できていますか（単数回答）



“49人以下の事業所” “50人以上の事業所” とともに、「場所も蛇口数も確保できている」と回答した割合が50%以上だった。

17) 経営理念や経営方針の健康に関する記述の有無

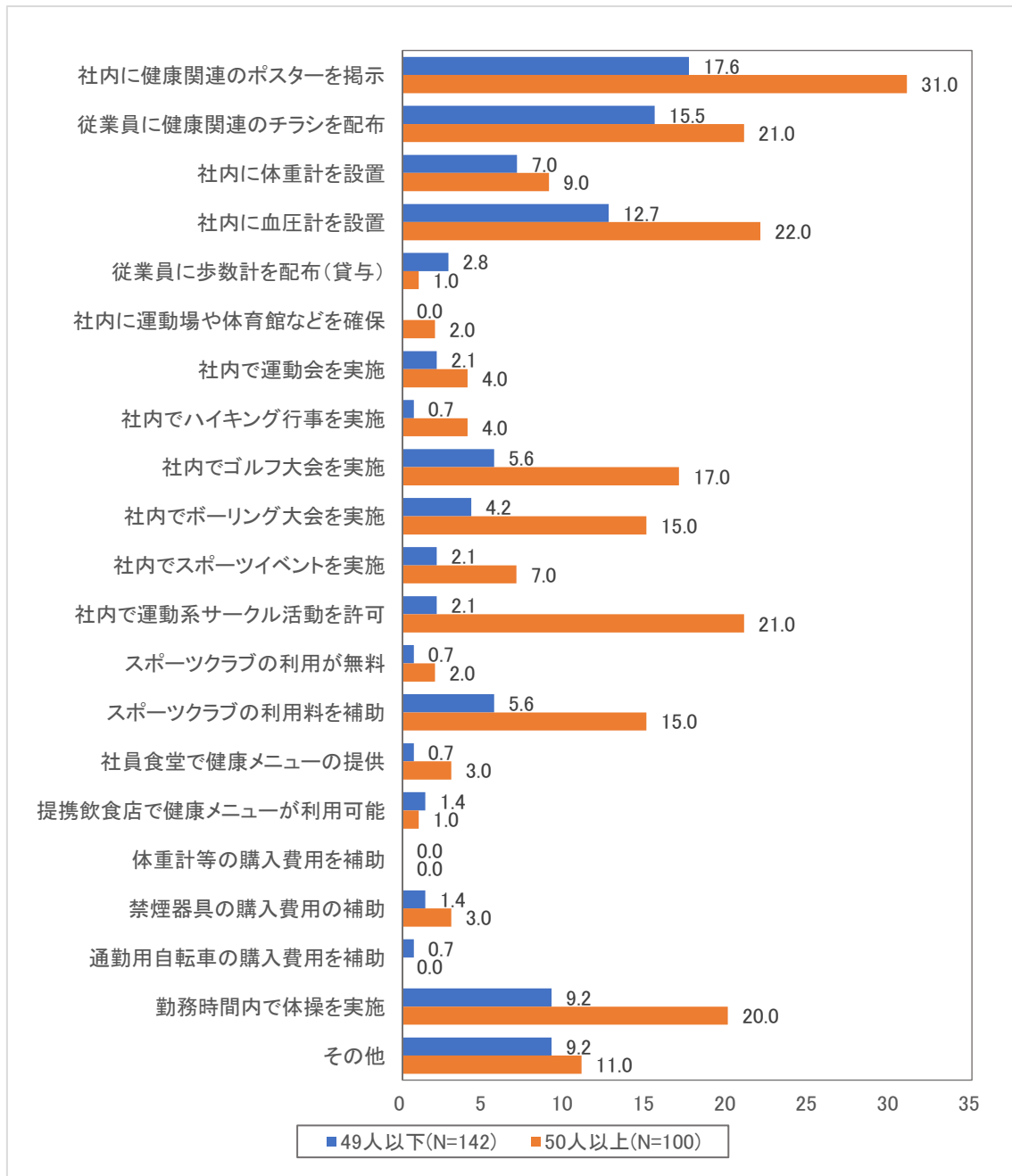
経営理念や経営方針に従業員の健康に関する記述はありますか（単数回答）



経営理念や経営方針に健康に関する記述があると回答した割合は、“49人以下の事業所”が26.8%、“50人以上の事業所”が38.0%だった。

18) 健康に関する取組み状況

従業員の健康のために、どんな取り組みをしていますか（複数回答）

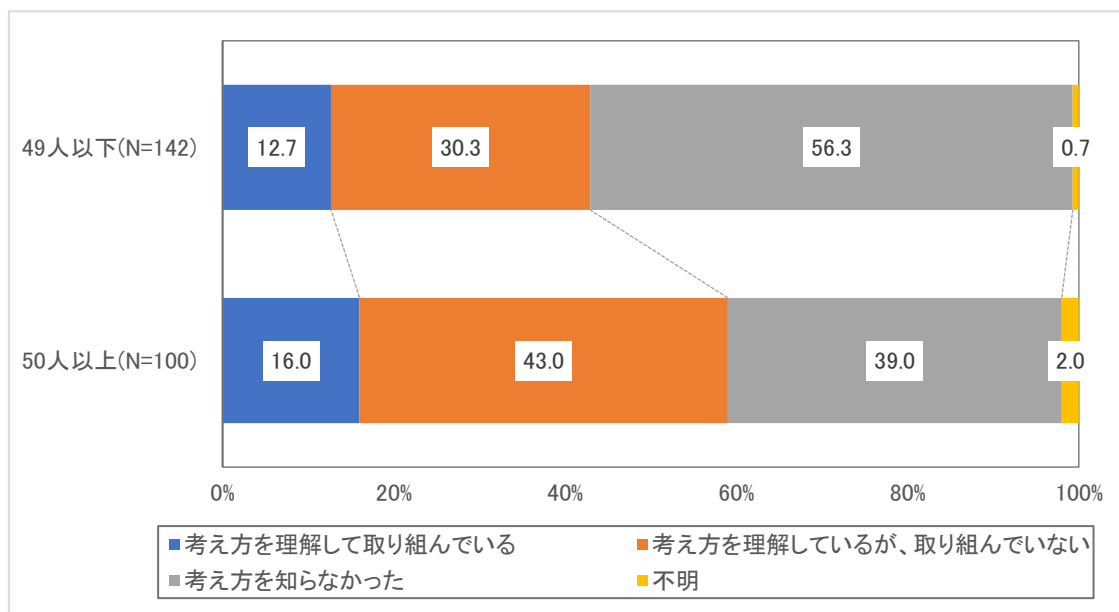


“49人以下の事業所”では、「社内に健康関連のポスターを掲示」が17.6%と最も高く、次いで「従業員に健康関連のチラシを配布」が15.5%、「社内に血圧計を設置」が12.7%だった。

“50人以上の事業所”では、「社内に健康関連のポスターを掲示」が31.0%で最も高く、次いで「社内に血圧計を設置」が22.0%、「従業員に健康関連のチラシを配布」・「社内で運動系サークル活動を許可」が21.0%だった。

19) 健康経営の実施状況

経済産業省が推奨している「健康経営」を実践していますか（単数回答）

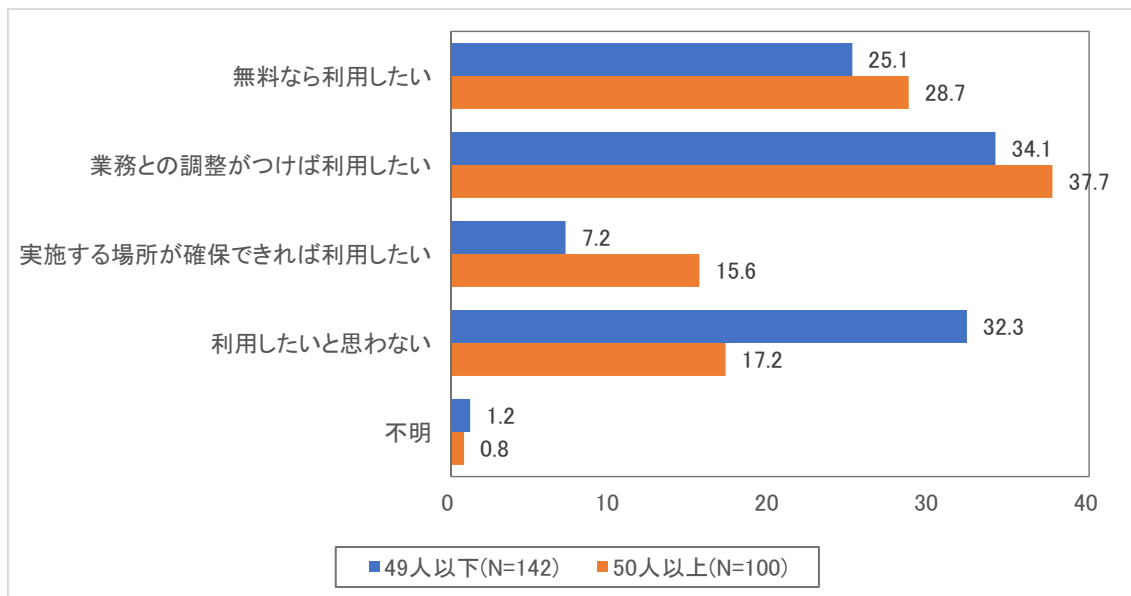


健康経営の「考え方を理解して取り組んでいる」と回答した割合は、“49人以下の事業所”が12.7%、“50人以上の事業所”が16.0%だった。

“49人以下事業所”では、「考え方を知らなかった」と回答した割合の方が高かった。

20) 歯科医師や歯科衛生士による相談・講座の希望の有無

歯科医師や歯科衛生士が事業所に出向き、歯と口に関する相談や健康づくりについて周知する講座があるとしたら利用したいと思いますか（複数回答）



“49人以下の事業所”では、「業務との調整がつけば利用したい」が34.1%で、「無料なら利用したい」が25.1%だった。

“50人以上の事業所”では、「業務との調整がつけば利用したい」が37.7%で、「無料なら利用したい」が28.7%だった。

「利用したいと思わない」と回答した割合は、“50人以上の事業所”よりも“49人以下の事業所”の方が高かった。

静岡市 歯と口に関するアンケート調査 ご協力をお願い

市内事業所の皆様には、日頃から市の保健福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて静岡市では、“健康長寿のまち”の実現に向け、市民が生涯にわたり歯と口の健康を維持できるよう、今年4月に『静岡市歯と口腔の健康づくりの推進に関する条例』を施行し、市民、行政、事業所等関係者が“オール静岡市”で歯と口の健康づくりを推進することになりました。

それに合わせ、城東保健福祉エリアに口腔保健支援センターを開設し、「歯と口の健康は、全身の健康の原点」という考えのもと、健康寿命延伸のための様々な取組を実施し、「健康長寿世界一の都市」を目指しています。

そのため、2020年度には「静岡市歯と口腔の健康づくりの推進に関する計画」を作成する予定であり、その基礎資料として、このたび、市内事業所の皆様に「アンケート調査」をお願いすることになりました。

つきましては、お忙しいところ誠にお手数ですが、本調査の趣旨をご理解のうえ、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

<調査票ご記入にあたってのお願い>

1. アンケートの回答は、総務担当（給与・厚生、保健衛生）の方がお答えください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の前にある□のなかに✓をつけてください。
3. 本調査は、会社名等を伺いませんので個社の回答内容が外部に漏れることはありません。また、回答内容を受けて行政指導をすることはありません。実態に即して、ありのままをご記入ください。
4. ご記入いただいた調査票は、**2019年8月19日(月)**までに、同封しました返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

2019年8月

静岡市長 田辺 信宏

(保健福祉長寿局健康福祉部健康づくり推進課)

<問合せ先>

静岡市 健康づくり推進課 口腔保健支援センター
担当：
電話：

- 問1 貴社の主要な業種に1つ✓を付けてください。
- | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 農林水産業 | <input type="checkbox"/> 製造業 | <input type="checkbox"/> 建設業 |
| <input type="checkbox"/> 卸売・小売業 | <input type="checkbox"/> 運輸・通信業 | <input type="checkbox"/> サービス業 |
| <input type="checkbox"/> 宿泊・飲食業 | <input type="checkbox"/> 医療・福祉 | <input type="checkbox"/> その他 |
- 問2 貴社の従業員数（非正規社員を含む）に1つ✓を付けてください。
- | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 10人以下 | <input type="checkbox"/> 11～29人 | <input type="checkbox"/> 30～49人 |
| <input type="checkbox"/> 50～99人 | <input type="checkbox"/> 100～299人 | <input type="checkbox"/> 300～499人 |
| <input type="checkbox"/> 500～999人 | <input type="checkbox"/> 1,000人以上 | |
- 問3 貴社の女性従業員比率に1つ✓を付けてください。
- | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 19%以下 | <input type="checkbox"/> 20～29% | <input type="checkbox"/> 30～39% |
| <input type="checkbox"/> 40～49% | <input type="checkbox"/> 50～59% | <input type="checkbox"/> 60～69% |
| <input type="checkbox"/> 70～79% | <input type="checkbox"/> 80%以上 | |
- 問4 貴社の50歳以上の従業員比率に1つ✓を付けてください。
- | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 10%以下 | <input type="checkbox"/> 11～19% | <input type="checkbox"/> 20～29% |
| <input type="checkbox"/> 30～39% | <input type="checkbox"/> 40～49% | <input type="checkbox"/> 50%以上 |
- 問5 貴社が加入する被用者保険に1つ✓を付けてください。
- 全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）
 - 組合管掌健康保険（組合けんぽ）
 - 共済組合
 - 未加入（従業員ごと国民健康保険に加入してもらっている）
- 問6 貴社では、昨年度、健康診断を実施していますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- | | |
|---|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 社内で実施している | <input type="checkbox"/> 社外で実施している |
| <input type="checkbox"/> 勤務に応じて社内・社外に分かれる | <input type="checkbox"/> 昨年度は実施しなかった |
- 問7 貴社の健康診断では、歯科に関する健診（歯科健診）を実施していますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 実施している | <input type="checkbox"/> 実施していない |
|---------------------------------|----------------------------------|

問8 貴社の健康診断や歯科健診は、勤務時間中に受診できますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 全従業員一斉に勤務時間中に受診させている
 一斉に受診できないので、調整して個別に勤務時間中に受診させている
 各自で有給休暇を取得して、都合の良い時間で受診させている
 その他（ ）

問9 貴社では、従業員の歯の病気について把握していますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 歯科健診を受診させて把握している
 健康診断時に自己申告させて把握している
 歯科医院への通院が分かった時には聞き取りをしている
 歯の状況は把握していない

問10 静岡市では、40歳以上の市民を対象に低額で受けられる「歯周病検診」を行っています。事業所として、従業員に対して、この歯周病検診を告知・周知したことはありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- ある ない

問11 貴社では、決まった時間に全従業員が体操（ラジオ体操、表情を豊かにするための体操や発声練習など）をしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 毎日 週に3～4回 週に1～2回
 月に1回 していない

問12 貴社では、上司や同僚による健康状態のチェック（問診や測定器具を使ったチェックなど）をしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 毎日 週に3～4回 週に1～2回
 月に1回 していない

問13 貴社では、食事の後に歯みがきしている人は従業員の何割くらいですか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 100% 80～99% 60～79%
 40～59% 20～39% 19%以下

- 問14 貴社では、従業員に昼食後の歯みがきを推奨（社内報や朝礼時の定期的な周知、手洗い場への貼紙など）をしていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 推奨している 推奨していない
- 問15 貴社では、従業員に正しい歯みがき方法を、どのくらいの頻度で指導していますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 1年に複数回以上 1年に1回
 2～3年に1回 4年以上実施していない
- 問16 貴社には、従業員が歯みがきする場所が確保できていますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- 場所も蛇口数も確保できている
 場所は確保できているが、蛇口数が足りない
 （他社と共用のため）場所は確保できていない
 その他（ ）
- 問17 貴社の経営理念や経営方針に従業員の健康に関する記述はありますか。該当するものに1つ✓を付けてください。
- ある ない
- 問18 貴社では従業員の健康のために、どんな取り組みをしていますか。該当するものに全部✓を付けてください。
- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 社内に健康関連のポスターを掲示 | <input type="checkbox"/> 従業員に健康関連のチラシを配布 |
| <input type="checkbox"/> 社内に体重計を設置 | <input type="checkbox"/> 社内に血圧計を設置 |
| <input type="checkbox"/> 従業員に歩数計を配布（貸与） | <input type="checkbox"/> 社内に運動場や体育館などを確保 |
| <input type="checkbox"/> 社内で運動会を実施 | <input type="checkbox"/> 社内でハイキング行事を実施 |
| <input type="checkbox"/> 社内でゴルフ大会を実施 | <input type="checkbox"/> 社内でボウリング大会を実施 |
| <input type="checkbox"/> 社内でスポーツイベントを実施 | <input type="checkbox"/> 社内で運動系サークル活動を許可 |
| <input type="checkbox"/> スポーツクラブの利用が無料 | <input type="checkbox"/> スポーツクラブの利用料を補助 |
| <input type="checkbox"/> 社員食堂で健康メニューの提供 | <input type="checkbox"/> 提携飲食店で健康メニューが利用可能 |
| <input type="checkbox"/> 体重計等の購入費用を補助 | <input type="checkbox"/> 禁煙器具の購入費用の補助 |
| <input type="checkbox"/> 通勤用自転車の購入費用を補助 | <input type="checkbox"/> 勤務時間内で体操を実施 |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） | |

問19 貴社では、経済産業省が推奨している「健康経営[※]」に取り組んでいますか。該当するものに1つ✓を付けてください。

- 考え方を理解して、取り組んでいる
- 考え方を理解しているが、取り組んでいない
- 考え方を知らなかった

※…「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことで、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されている。

問20 歯科医師や歯科衛生士が事業所に出向き、歯と口に関する相談や健康づくりについて周知する講座があるとしたら利用したいと思いますか。該当するものに全部✓を付けてください。

- 無料なら利用したい
- 業務との調整がつけば利用したい
- 実施する場所が確保できれば利用したい
- 利用したいと思わない

問21 本市が取り組む、歯や口の健康づくりについて、普段、感じられていることがあれば、ご自由にお書きください。

例. 歯や口の健康づくりに関する会社への支援メニューを知りたい。

【 質問は、すべて終了です 】

お忙しいところ、アンケートのご協力、ありがとうございました。
調査票を同封の封筒に入れ、8月19日(月)までに切手を貼らずにご投函ください。

静岡市 歯と口に関するアンケート調査 報告書
(令和2年3月 発行)

発 行 静岡市 保健福祉長寿局 健康福祉部
健康づくり推進課 (口腔保健支援センター)
〒420 - 0846 静岡市葵区城東町24番1号
電話 054-249-3175 FAX 209-1063

編 集 一般社団法人 静岡経済研究所
〒420 - 0853 静岡市葵区追手町1番13号
電話 054-250-8750